PENTAX®

デジタルカメラ

Optio WPi

使用説明書





カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptioWPiをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオはペンタックス株式会社の登録商標です。

SDロゴは商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。

PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 **警告** このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 **注意** このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

 **警告**

- カメラを分解・改造などしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止してバッテリーを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

注意

- バッテリーをショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こした時は、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

バッテリー充電器とACアダプターについて

警告

- 指定された電源以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器で充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとすると、発熱や、充電器の故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 破損や故障、また防水性能が損なわれる原因となりますので、強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動からは、クッションに包むなどして保護してください。万が一、強い振動・ショック・圧力などが加わってしまったら、当社のサービス窓口に点検にお出しください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.30）をご覧ください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。
- 本製品に付属しているACコードD-CO24Jは、バッテリー充電器D-BC8専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

防水・防塵機能について

- このカメラはJIS防水保護等級8級、JIS防塵保護等級5級(IP58)準拠の防水・防塵機能を備えたカメラです。
- このカメラは、防水性能を高めるために、レンズ正面に保護ガラスを配置しています。保護ガラスが汚れていたり、水滴が付いていると、撮影した画像に影響を与えますので、保護ガラスは常にきれいな状態を保つようにしてください。
- 浜辺などでは、砂の上にカメラを直接置かないでください。

- このカメラは水中では沈みますので、必ずストラップを取り付け、使用する際は腕に巻いて落ちないように注意してください。
- 水中や浜辺など、カメラが濡れたり汚れる環境でお使いになる場合は、必ずバッテリー／カードカバーが確実にロックされていることを確認してからご使用ください。カメラの内部に水・砂・泥が入ると故障の原因になります。また使用後は、カメラに付いた水滴や汚れを早いうちに乾いた布できれいに拭き取ってください。
- 海上や海辺でのバッテリー／カードカバーの開閉はなるべく避けてください。なおバッテリーやSDメモリーカードを交換する際は、完全に乾いてから、濡れたり汚れたりしやすい場所を避け、濡れた手をよく拭いてから行ってください。
- 汚れのひどいときや海水がかかったときは、電源が切れていること、バッテリー／カードカバーが確実に閉まっていることを確認してから、水道水を少し流しながら水洗いするか、底の浅い洗面器などに真水をため、短時間（2〜3分）でカメラをつけ置き洗いしてください。
- 石けん水・中性洗剤・アルコールなどでの洗浄は防水効果を損ないますので避けてください。
- 防水パッキンやパッキンの当たる面にゴミや砂が付いたときは、よく拭き取ってからご使用ください。パッキンやパッキンの当たる面に傷が付いていたり、へこんだり、パッキンがはがれると防水機能が損なわれます。このような場合は、当社のサービス窓口にご相談ください。
- カメラの防水性能を維持するために、1年に1度は防水パッキンの交換をお勧めします。パッキンの交換については、当社のサービス窓口にご相談ください。（有料）
- カメラに強い振動・ショック・圧力などが加わると、防水性能が損なわれる原因となります。もし強い振動・ショック・圧力が加わってしまった場合は、当社のサービス窓口に点検にお出しください。
- 日焼け止めやサンオイルが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。万が一付着させてしまった場合は、速やかにぬるま湯で洗い流してください。
- 本製品の付属品には防水機能はありません。

目次

撮影 63

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
モード	静止画と動画の撮影、音声の録音をするモードです。本書では、静止画を撮影するモードを「静止画撮影モード」、動画を撮影するモードを「モード」、音声を録音するモードを「モード」と表記します。
モード	静止画と動画、音声を再生するモードです。
, , , , , , , , , , , , , , SOFT, , , , , ,	タイトルの上に表示されたマークは、その機能が使える撮影モードを表します。 例） **シャープネスを設定する**

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作を行ってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影、再生したいときは、このページをご覧ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、4章以降をご覧ください。

4 撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 画像の再生と消去

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法、カメラから消去する方法について説明しています。

6 画像の編集と印刷

撮影した静止画を印刷するためのさまざまな方法や、カメラで編集する方法について説明しています。パソコンを使った印刷や編集の方法については、別冊の『ACDSee for PENTAXユーザーズマニュアル』をご覧ください。

7 音声の録音と再生

音声の録音や静止画像に音声（ボイスメモ）を追加する方法、音声の再生のしかたを説明しています。

8 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

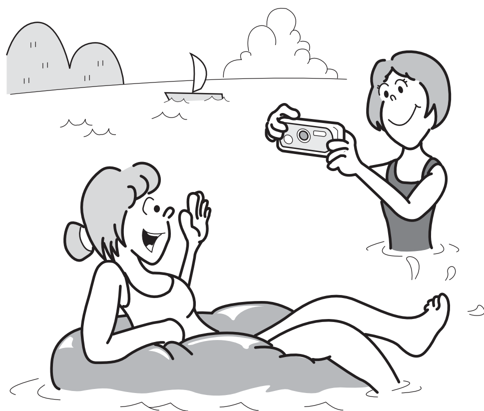
9 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内などをしています。

このカメラの楽しみ方

OptioWPiでは、一般的な写真撮影のほか、いろいろなシーンに応じたバリエーションに富んだ撮影方法をお楽しみいただけます。ここでは、OptioWPiの特長的な楽しみ方をご紹介しましょう。操作説明のページもあわせてご覧いただき、ぜひOptioWPiの楽しさを味わってみてください。

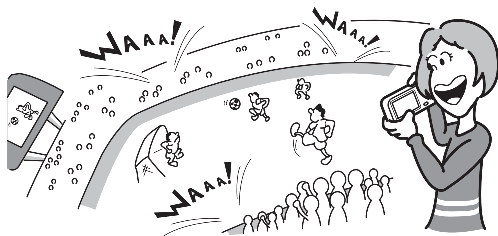
水中撮影、水辺での撮影もOK！



OptioWPiでは、水深1.5mで連続30分の水中撮影が可能な、高い防水性能を実現しています。バッテリー／カードカバーにロック機構を採用していますので、水中でも安心して撮影が楽しめます。（p.70）

- **浅瀬でのシュノーケリングなどの際の水中撮影に。**
- **川や湖、プールなど、水辺のレジャーでの撮影に。**
- **ちょっと汚れても水拭きOKだから、いろいろなアウトドアシーンでの撮影に。**

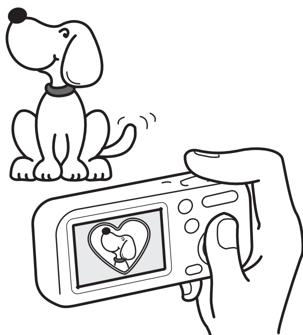
シャッターチャンス前後の音声録音が可能!



OptioWPiでは、撮った写真に後で音声メモを追加できるだけではありません。「ピクチャーボイス」モードに切り替えることにより、シャッターボタンを押して撮影するまでの間、周囲の音声を自動的に集音。撮影した瞬間に、シャッターボタンを押した前後10秒の音声が記録されます。(p.71)

- **記念撮影のときの「はい、チーズ！」「こっち向いて」などの声の記録に。**
- **スポーツ観戦などでのシャッターチャンスが到来したとき、そのときの歓声の記録に。**

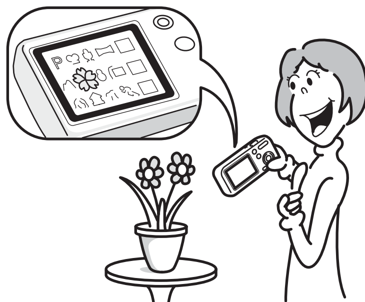
フレームをあらかじめ選んで構図を決められる！



OptioWPiでは、カメラに内蔵されたフレームを撮影時に表示し、そのフレームに合わせた構図の撮影が行えます。撮影後にフレーム合成して、フレームと被写体のバランスが微妙に合わない・・・なんていう悩みはありません。(p.74) もちろん、編集機能を使って後からフレームと合成するという方法もOK！ (p.130)

- **フレームを使った記念写真に。**

撮影も再生も、カメラがナビゲートしてくれる！



OptioWPiは、カメラ本体のボタンをできるだけ少なくし、最小限の操作で使えるカンタン設計。加えて、いろいろなシーンで最適な設定を選べる「撮影モード」（p.53）も、再生・編集のいろいろな楽しみ方を提供する「再生モード」（p.104、p.122）も、わかりやすいアイコンを選ぶだけでOK。各モードの機能や使い方も、グリーンボタンを押すだけで液晶モニターに表示されるガイドで確認できる、親切設計です。（p.62）

- **モードパレット表示時にグリーンボタンを押すと、ガイドを表示。（p.62）**
- **グリーンモードを使うと、標準設定で手軽に撮影可能。（p.64）**

いつでも身近に持ち歩ける！

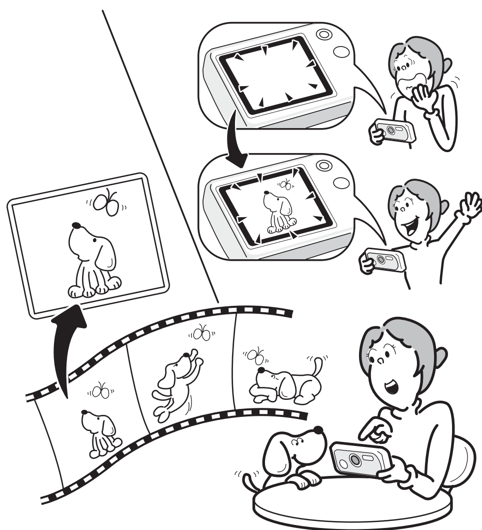


OptioWPiは小さくて洒落たデザインだから、カバンのポケットに入れたり首から下げたり、携帯電話のような感覚でいつでも身近に持ち歩けます。また、ちょっと時間を知りたいときに役立つ「スタイルウォッチ」機能を装備。（p.167）

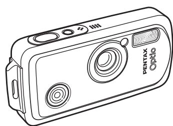
パソコンがなくても楽しめる、再生・編集機能も充実！

OptioWPiでは、パソコンに接続し画像の転送を行わなくても画像の再生や編集が楽しめる機能が充実。パソコンを起動するのが面倒だな、というときなどでも、これ一台で撮影から画像加工、動画の編集まで楽しんでいただけます。（p.122）また、うっかり画像を削除してしまったとき、復活が可能なのも、OptioWPiならでは。（p.119）

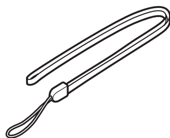
- **リサイズ（p.122）、トリミング（p.124）、色調変更（p.127）、明るさ補正（p.128）など、多彩な画像編集が可能。**
- **カメラでの画像再生時に、赤目補正が可能。（p.129）**
- **動画の分割・結合、動画から静止画を取り出すといった動画編集が可能。（p.132）**



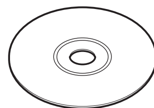
主な同梱品の確認



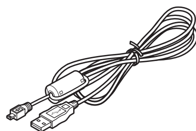
本体
OptioWPi



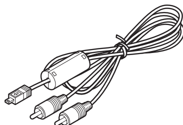
ストラップ
O-ST20（※）



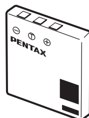
ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW30



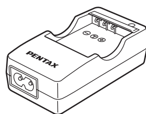
USBケーブル
I-USB7（※）



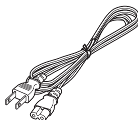
AVケーブル
I-AVC7（※）



充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI8（※）



バッテリー充電器
D-BC8（※）



ACコード
D-CO24J（※）



PC接続ガイド



使用説明書
（本書）



ACDSee for PENTAX
ユーザーズマニュアル

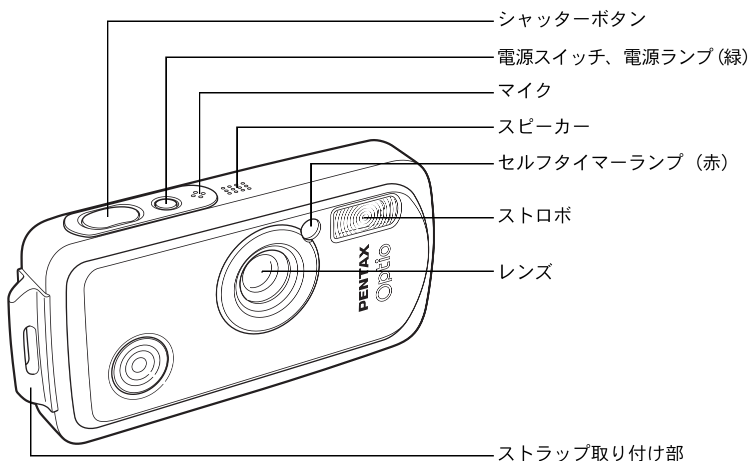
簡単ガイド

保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.174）をご覧ください。

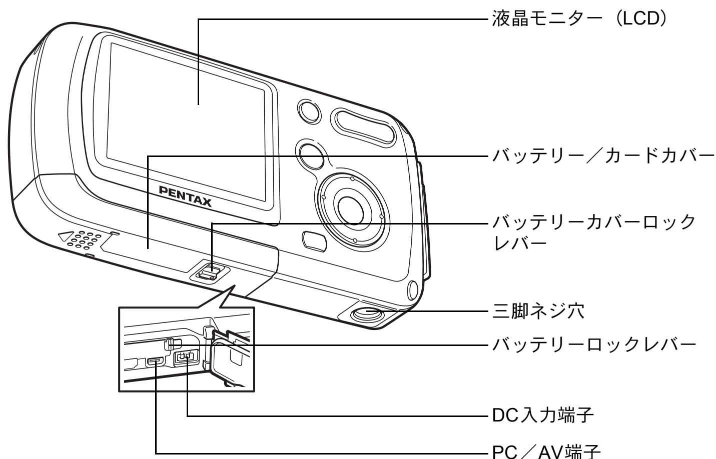
各部の名称

前面



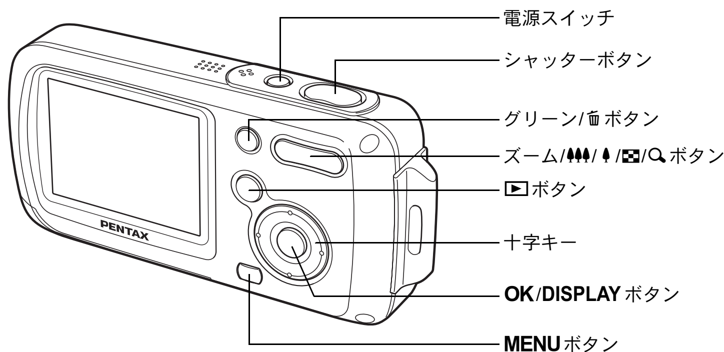
シャッターボタン
電源スイッチ、電源ランプ（緑）
マイク
スピーカー
セルフタイマーランプ（赤）
ストロボ
レンズ
PENTAX
Optio
ストラップ取り付け部

背面



液晶モニター（LCD）
バッテリー／カードカバー
PENTAX
バッテリーカバーロックレバー
三脚ネジ穴
バッテリーロックレバー
DC入力端子
PC／AV端子

操作部の名称

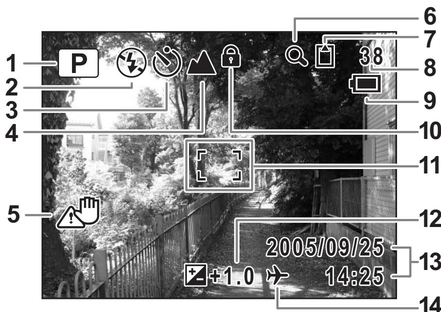




各ボタンの機能は、「ボタンの機能を使用する」（p.44～p.47）をご覧ください。

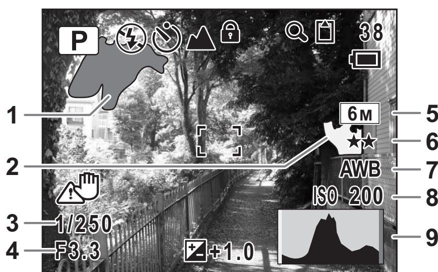
画面の表示

静止画撮影モード 通常表示
撮影条件などを表示します。



1 撮影モード（p.53）
2 ストロボモード（p.83）
3 ドライブモード
（p.72、p.73、p.74）
4 フォーカスモード（p.81）
5 手ぶれ警告表示（p.79）
6 デジタルズーム表示（p.76）
7 メモリー状態表示（p.34）
：内蔵メモリー（カードなし）
：SDメモリーカード
：カードロック状態
8 撮影可能枚数
9 バッテリー残量表示（p.24）
10 キーロック表示（p.64）
11 フォーカスフレーム（p.40）
12 露出補正値（p.78）
13 現在の日時（p.38）
14 ワールドタイム設定中（p.156）

静止画撮影モード フル表示

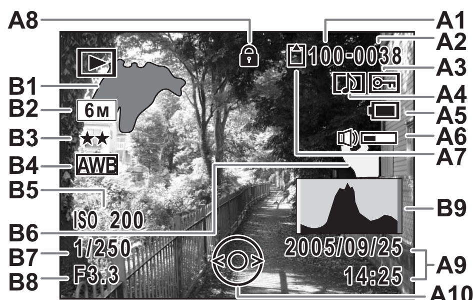


1 白とび（赤で点滅）
2 黒つぶれ（黄色で点滅）
3 シャッター速度
4 絞り値
5 記録サイズ（p.85）
6 画質（p.87）
7 ホワイトバランス（p.88）
8 感度（p.92）
9 ヒストグラム（p.80）

「白とび」「黒つぶれ」表示について
被写体の中で明るすぎて白くとんでしまう部分がある場合、その部分が赤の点滅で警告表示されます。また暗すぎて黒くつぶれてしまう部分がある場合、その部分が黄色の点滅で警告表示されます。

静止画再生モード フル表示

撮影条件などを表示します。B1～B9は「ヒストグラム＋情報」表示のときにのみ表示されます。(p.109)



A1	フォルダ番号（p.159）	**A9**	撮影日時（p.38）
A2	ファイル番号	**A10**	十字キーガイド表示
A3	画像プロテクト表示（p.120）	**B1**	白とび（赤で点滅）（p.19）
A4	ボイスメモ表示（p.148）	**B2**	記録サイズ（p.85）
A5	バッテリー残量表示（p.24）	**B3**	画質（p.87）
A6	音量表示（p.148）	**B4**	ホワイトバランス（p.88）
A7	メモリー状態表示（p.34）	**B5**	感度（p.92）
	：内蔵メモリー（カードなし）	**B6**	黒つぶれ（黄色で点滅）（p.19）
	：SDメモリーカード	**B7**	シャッター速度
	：カードロック状態	**B8**	絞り値
A8	キーロック表示（p.64）	**B9**	ヒストグラム（p.80）

ガイド表示について

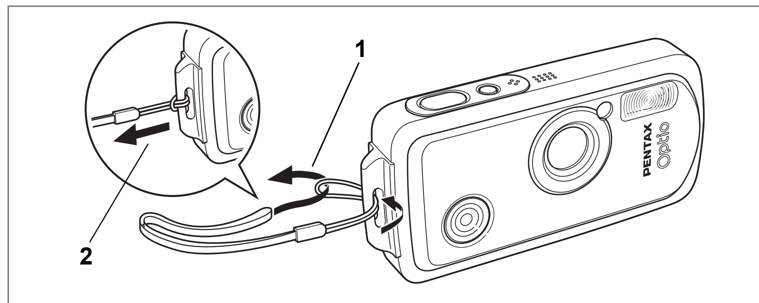
操作中は液晶モニターにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU

ズームボタン	🔍
OKボタン	OK
シャッターボタン	SHUTTER
グリーン/🗑ボタン	◉、🗑

ストラップを取り付ける

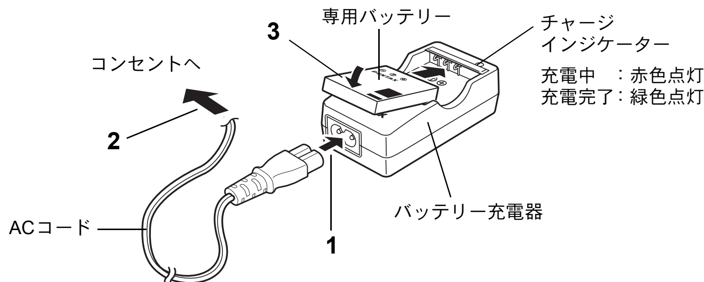
付属のストラップ（O-ST20）を取り付けます。



1　ストラップの細いひもの部分を、本体のストラップ取り付け部に通す

2　ストラップ端を細いひもの輪にくぐらせて引き締める

電源を準備する



バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや長時間使用しなかったとき、「電池容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。

1　バッテリー充電器D-BC8にACコードを接続する

2　ACコードをコンセントに差し込む

3　専用バッテリーをPENTAXロゴが見えるようにセットする

充電中はチャージインジケーターが赤色に点灯します。
充電が完了すると、チャージインジケーターが緑色に点灯します。

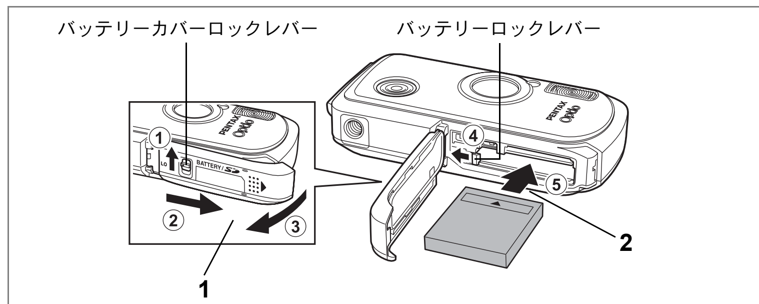
4　充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り出す



- 充電時間は、最大で約100分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。（周囲の温度や充電状態によって異なります。）
- 正しく充電しても使用できる時間が短くなったらバッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。



- 付属のバッテリー充電器では、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外のバッテリーは充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケーターランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。



バッテリーをセットする

専用バッテリーをセットします。はじめてご使用になるときは、バッテリーを充電してからセットしてください。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向にバッテリーカバーロックレバーを押し上げ、②の方向に引き出してから③の方向に引き上げます。

2　バッテリーの▲マークをカメラのレンズ側に向け、バッテリーの側面でバッテリーロックレバーを矢印④の方向に押しながら挿入する

ロックされるまでバッテリーを挿入してください。

3　バッテリー／カードカバーを閉じる

①と逆方向にバッテリーカバーロックレバーを押し下げてください。

バッテリーを取り出す

1　バッテリー／カードカバーを開ける

2　バッテリーロックレバーを矢印④の方向に押す

バッテリーが少し飛び出すので、引き抜いてください。

注意

バッテリー／カードカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがありますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなります。

注意

- 充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8が、このカメラの専用バッテリーです。他のバッテリーを使用すると、カメラが破損し作動しなくなることがあります。
- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると故障の原因になります。
- 電源スイッチがオンのときはバッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長時間使用しない場合はバッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。
- バッテリーを交換する際は、カメラが完全に乾いてから、濡れたり汚れたりしやすい場所を避け、濡れた手をよく拭いてから行ってください。

- **静止画撮影可能枚数と動画撮影、音声録音、再生時間の目安**
（23℃・液晶モニター点灯・専用バッテリーフル充電時）

静止画撮影可能枚数※1（ストロボ使用率50％）	動画撮影時間※2	音声録音時間※2	再生時間※2
200枚	80分	300分	240分

※1：撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：液晶モニターON、ストロボ使用率50％、23℃）
※2：時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。



- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下することがあります。
- 海外旅行など長期のおでかけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。

- **バッテリーの残量表示**

液晶モニターに表示されたで、バッテリーの残量を確認できます。

画面表示	バッテリーの状態
（緑）	バッテリーがまだ十分に残っています。
（緑）	少し減っています。
（黄）	だいぶ減っています。
（赤）	残量がほとんどありません。
「電池容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源がオフとなります。

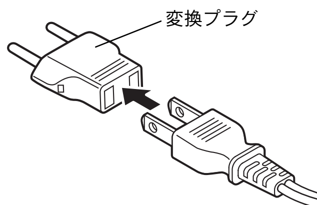
● **リサイクルについて**



このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

海外でバッテリーを充電する

同梱のバッテリー充電器は、自動で全世界の電源電圧（100-240V）、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り換わるように設計されています。
ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、「主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ」（p.26）を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合った変換プラグを準備してください。
充電の仕方は、国内と同じです。



注意

- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
- ご使用にならないときは、変換プラグをコンセントから外してください。

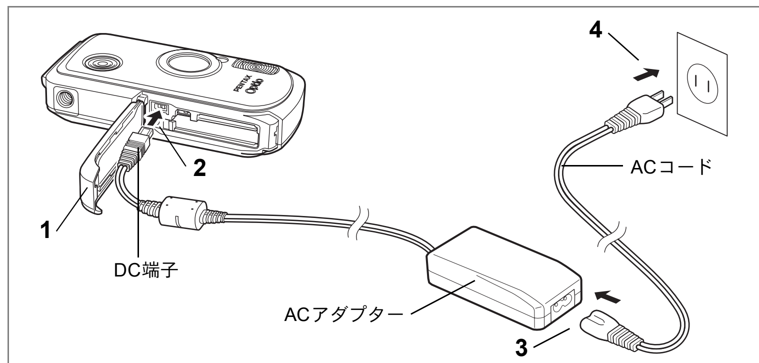
タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				



同梱のACコード D-CO24Jは、タイプAです。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

		A	B	BF	C	S
北米	アメリカ合衆国、カナダ	○				
ヨーロッパ、旧ソ連地域	アイスランド、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オーストリア、オランダ、カザフスタン、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベラルーシ、ベルギー、ルーマニア、ロシア				○	
	イギリス		○	○		
	スペイン	○			○	
	スイス、ポーランド、ポルトガル		○		○	
アジア	日本、台湾	○				
	スリランカ、モルジブ		○			
	ネパール、バングラデシュ、モンゴル				○	
	ベトナム	○			○	
	インド、インドネシア、パキスタン、マカオ特別区		○		○	
	タイ	○		○	○	
	大韓民国	○	○		○	
	フィリピン	○			○	○
	シンガポール、香港特別行政区		○	○		
	中華人民共和国	○	○	○	○	○
	マレーシア		○	○	○	
オセアニア	オーストラリア、トンガ、ニュージーランド、フィジー					○
	グァム島	○				
	タヒチ				○	
中南米	コロンビア、ジャマイカ、ハイチ、パナマ、バハマ、プエルトリコ、ベネズエラ、メキシコ	○				
	ブラジル、ペルー	○			○	
	チリ		○		○	
	アルゼンチン			○	○	○
中東	イスラエル、イラン				○	
	クウェート		○		○	
	ヨルダン		○	○		
アフリカ	カナリア諸島、ギニア、モザンビーク、モロッコ				○	
	ケニア、南アフリカ共和国		○		○	
	アルジェリア	○	○	○		
	エジプト		○	○	○	
	ザンビア、タンザニア		○	○		



ACアダプターを使用する

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、バッテリー／カードカバーを開ける

2　ACアダプターのDC端子を、▲マークを液晶モニター側に向けてカメラのDC入力端子に接続する

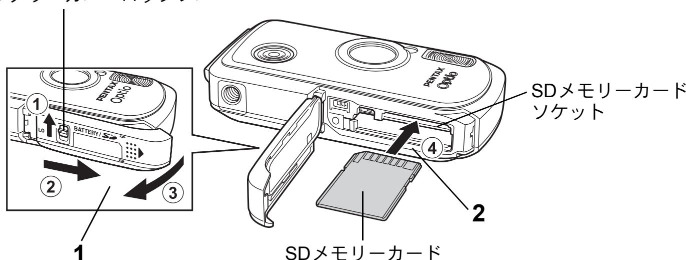
3　ACコードをACアダプターに接続する

4　電源プラグをコンセントに差し込む

注意

- AC アダプターの接続やとり外しは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。SD メモリーカードまたは内蔵メモリーにデータを記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC8Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- AC アダプターを接続しても、カメラ内のバッテリーを充電することはできません。
- バッテリー／カードカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがありますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなります。

SDメモリーカードをセットする



このカメラでは、SDメモリーカードをご使用いただけます。撮影した画像や録音した音声はカメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます。（p.34）

注意

- SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。
- 未使用または他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」（p.149）をご覧ください。
- SDメモリーカードを交換する際は、カメラが完全に乾いてから、濡れたり汚れたりしやすい場所を避け、濡れた手をよく拭いてから行ってください。
- バッテリー／カードカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがありますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなります。

メモ

- 撮影できる静止画の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。（p.31）
- SDメモリーカードにアクセス中（データの記録や読み出し中）は、電源ランプが点滅します。

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向にバッテリーカバーロックレバーを押し上げ、②の方向に引き出してから③の方向に引き上げます。

2　SD メモリーカードのラベル面をカメラの液晶モニター側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードはカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像や音声が正常に記録されないことがあります。

3　バッテリー／カードカバーを閉じる

①と逆方向にバッテリーカバーロックレバーを押し下げてください。

SDメモリーカードを取り出す

1　バッテリー／カードカバーを開ける

2　SDメモリーカードを中に押し込む

SDメモリーカードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜いてください。

SDメモリーカード使用上の注意

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
  液晶モニターではと表示されます。



- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影、再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

静止画の記録サイズと画質

撮影する静止画の記録サイズ（横×縦の大きさ）と画質（画像記録時のデータ圧縮率）は、撮影後の画像の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントしたときに鮮明な画像を得ることができます。ただし、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数（カメラの内蔵メモリーやSDメモリーカードに記録できる枚数）は少なくなります。
なお、撮影した写真や印刷した写真の美しさ、鮮明さには、画質設定や露出補正などの撮影時設定、あるいは使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、記録サイズをむやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、2M（1600×1200）程度が目安となります。下の表を参考に、用途に応じて適切な記録サイズと画質を設定してください。

● このカメラで選べる記録サイズと適した用途

記録サイズ	用途	
6M 2816×2112	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など
5M 2560×1920		
4M 2304×1728		
3M 2048×1536		
2M 1600×1200		はがきサイズプリントなど
1024 1024× 768		
640 640× 480		ホームページ掲載、電子メール添付など

初期設定では、6M（2816×2112）が選択されています。

● このカメラで選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

初期設定では、★★（ファイン）が選択されています。

静止画の記録サイズと画質の設定は、「撮影」メニューで行います。

記録サイズを選択する ☞p.85

画質を選択する ☞p.87

● **記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安**

	★★★（S.ファイン）		★★（ファイン）		★（エコノミー）	
	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB
6M 2816×2112	3枚	41枚	7枚	83枚	10枚	124枚
5M 2560×1920	4枚	49枚	8枚	95枚	11枚	137枚
4M 2304×1728	5枚	62枚	10枚	124枚	15枚	178枚
3M 2048×1536	6枚	77枚	13枚	153枚	19枚	223枚
2M 1600×1200	10枚	124枚	17枚	206枚	26枚	301枚
1024 1024× 768	21枚	244枚	35枚	412枚	45枚	522枚
640 640× 480	42枚	489枚	61枚	712枚	84枚	979枚

• この表の数値は、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

動画の記録サイズとフレームレート

動画の記録サイズとフレームレートは、動画の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値は画像の解像度を示します。数値が大きいほどきめの細かい画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。
フレームレートは、1秒間に更新される画像の数を示します。フレーム数が多ければ滑らかな動きになりますがファイルサイズは大きくなります。
動画の記録サイズとフレームレートの設定は「📷撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の記録サイズを選択する ☞p.101

フレームレートを選択する ☞p.102

● 選べる記録サイズと適した用途

320 (320×240)	パソコンの画面で見るのに適しています。
160 (160×120)	ファイルサイズは小さくなりますが、記録時間は長くなります。電子メールやホームページでの公開に適しています。

初期設定では、320（320×240）が選択されています。

● 選べるフレームレートと適した用途

30fps	動きの滑らかな動画で記録されます。記録時間は短くなります。
15fps	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

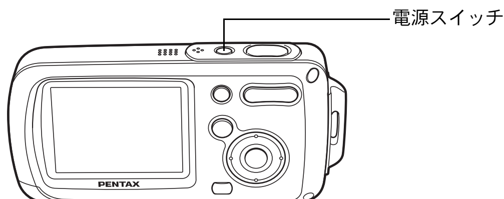
初期設定では、30fps（フレーム／秒）が選択されています。

● 記録サイズ／フレームレートと撮影可能時間の目安

	30fps		15fps		音声	
	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB
320 320×240	16秒	3分6秒	30秒	5分56秒	8分22秒	1時間37分
160 160×120	1分1秒	11分52秒	1分52秒	21分45秒		

• この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

電源をオン／オフする



1 電源スイッチを押す

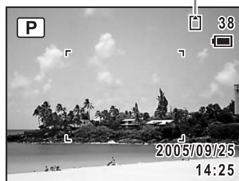
電源がオンになります。
カメラの電源を入れたときに、「初期設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.36の手順に従って設定を行ってください。

2 もう一度電源スイッチを押す

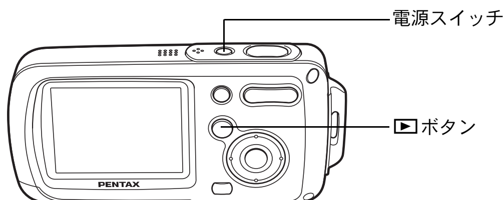
電源がオフになり、電源ランプが消灯します。

撮影する ☞p.63

カードチェック



電源をオンにすると、カードチェックが自動的に行われます。SDメモリーカードがセットされていないと、液晶モニターに🄰が表示されます。その場合、画像や音声は内蔵メモリーに記録されます。
またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、🄰のかわりに🄰が表示されます。ロック状態では画像や音声の記録はできません。



再生専用モード

再生専用モードは、撮影はせずに、すぐに画像や音声を再生したいときに使用します。
シャッターボタンなどを押しても、モードには移行しません。

1　ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

再生専用モードで起動します。



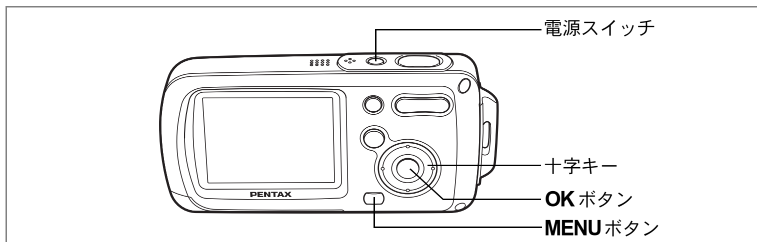
再生専用モードからモードへ切り替えるには、いったん電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

静止画を再生する ☞p.42

1
準備

初期設定をする

ご購入後、最初にお使いになる前に、まず言語と日時を設定してください。



カメラの電源を入れたときに、「初期設定」の画面が表示されたら、下記の「言語を設定する」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」（p.38）の手順で日時を現在の日時に設定してください。
「日時設定」の画面が表示されたら、「日時を設定する」（p.38）に進んでください。

設定した「言語」と「日時」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。

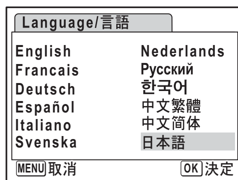
- 言語を変更したいときは：「表示言語を変更する」（☞p.158）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（☞p.150）

言語を設定する

1　十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ



3 OK ボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。「現在地」、「夏時間」が右図のように表示されていたら、もう一度**OK**ボタンを押して、「日時を設定する」(p.38) に進んでください。
それ以外の表示がされていたら、「現在地、夏時間の設定をする」に進んでください。



もし誤って、日本語以外の言語で**OK**ボタンを押してしまったら、下記のメニュー操作で日本語に設定し直してください。

1 OK ボタンを2回押す
2 MENUボタンを押す
3 十字キー(▶)を押す
4 十字キー(▼▲)を押して、「Language/言語」を選ぶ
5 十字キー(▶)を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

6 十字キー(▲▼◀▶)で「日本語」を選ぶ
7 OK ボタンを押す

ここまでの操作では、「現在地」と「日時」が、その前に誤って設定してしまった言語に対応した設定になっています。「ワールドタイムを設定する」(p.156) の手順で「現在地」を「東京」に、「日時を変更する」(p.150) の手順で「日時」を現在の日時に設定し直してください。

現在地、夏時間の設定をする

4 十字キー（▼）を押す

選択枠が「現在地」に移動します。

5 十字キー（▶）を押す

「現在地」画面が表示されます。

6 十字キー（◀▶）を押して、「東京」を表示させる

7 十字キー（▼）を押す

選択枠が「夏時間」に移動します。

8 十字キー（◀▶）を押して、□（オフ）に設定する

9 OKボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。

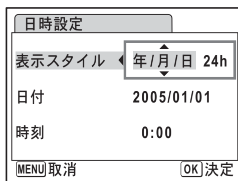
日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

2 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する



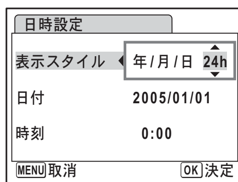
3 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

4 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

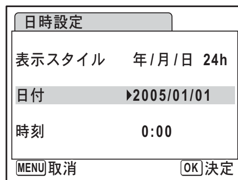
5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。



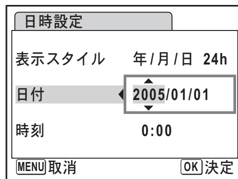
6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。



7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。



8 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

9 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

設定した「言語」「日時」「現在地」「夏時間」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。

- 言語を変更したいときは：「表示言語を変更する」（☞p.158）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（☞p.150）
- 現在地、夏時間のオン／オフを変更したいときは：「ワールドタイムを設定する」（☞p.156）



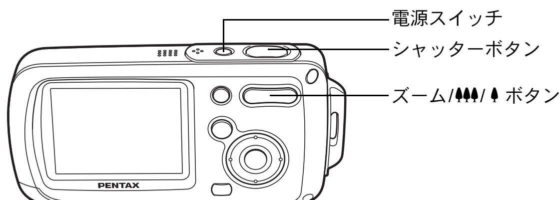
初期設定の途中で**MENU** ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

メモ

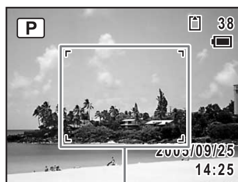
日時の設定終了後、**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

「ビデオ出力」方式は、初期設定の「Language/言語」で設定した国や地域の方式が設定されます。「日本語」以外を設定した場合は、「ビデオ出力」方式も確認してください。（p.161）

静止画を撮影する



最も標準的な撮影方法を説明します。ストロボは、明るさに応じて自動的に発光します。



フォーカスフレーム

1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。この状態を「静止画撮影モード」と呼びます。

2 液晶モニターを確認する

液晶モニター中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズーム/♣♣♣/♣ ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♣ ：被写体を拡大して写す

♣♣♣：被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。
撮影した画像は液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。（p.41）



グリーンボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定するグリーンモードに切り替わります。グリーンモードでは、もっとも簡単にきれいな写真が撮れます。（p.64）

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し
シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。半押しのとき、ピントが合うと液晶モニターに緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、赤い枠が点灯します。

全押し
シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

[ピント合わせの苦手な条件]

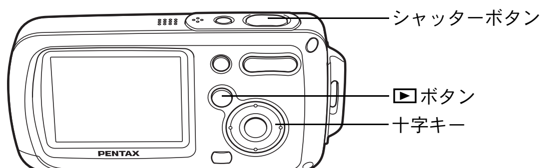
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

クイックビュー

撮影直後には、撮影した画像が液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）されます。クイックビューの表示時間は変更できます。(p.93)
クイックビュー中に 🗑 ボタンを押すと、画像を消去できます。

静止画を再生する



画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。本書ではこの状態を▶モード（再生モード）と表記します。また、▶モード時に画像が1枚だけ表示されている状態（▶モードの初期状態）を「1画面表示」と呼びます。
▶モード時にもう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、📷モードに切り替わります。



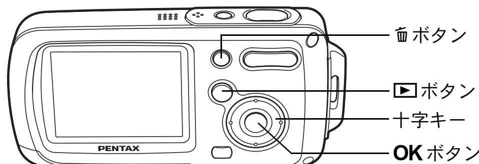
前後の画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

前後の画像が表示されます。



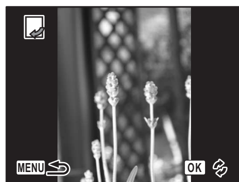
表示された画像を回転表示する

1　撮影後にボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。



3　十字キー（▲▼◀▶）で（画像回転）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

1回押すごとに、画像が時計回りに90度ずつ回転して表示されます。

5　ボタンを押す

回転した状態で画像が表示されます。



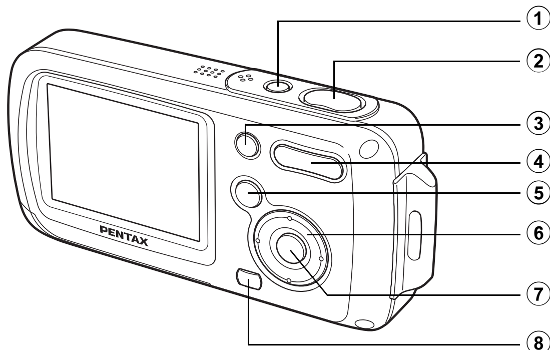
- 動画は回転表示できません。
- プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は記録されません。

表示した画像を消去するには

画像表示中にボタンを押すと、表示中の画像を消去する画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び **OK** ボタンを押すと、表示中の画像を消去できます。（p.114）



ボタンの機能を使用する



モード時

① **電源スイッチ**
電源をオンまたはオフにします。（p.34）

② **シャッターボタン**
半押しすると、ピント合わせを行います。（フォーカスモードが、▲、**PF**、**MF**のときを除く）（p.40）
全押しすると、静止画を撮影します。（p.40）
モードでは、動画の撮影を開始、終了します。（p.99）
モードでは、音声の録音を開始、終了します。（p.144）

③ **グリーンボタン**
グリーンモードに移行します。（p.64）
特定のメニューをすばやく呼び出します。（p.58）
モードパレット表示時は、選択項目の説明を表示します。（p.62）

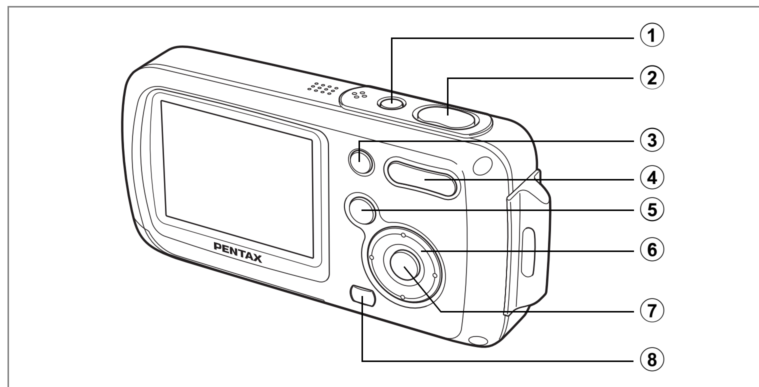
④ **ズーム/ / / / ボタン**
撮影する範囲を変えます。（p.76）
撮影モードパレット表示時は、撮影モードの入れ替えができます。（p.57）

⑤ ▶ボタン
▶モードに切り替えます。(p.104)

⑥ 十字キー
(▲)　：ドライブモードを切り替えます。(p.72、p.73、p.74)
(▼)　：撮影モードパレットを表示します。(p.53)
(◀)　：ストロボモードを切り替えます。(p.83)
(▶)　：フォーカスモードを切り替えます。(p.81)
(▲▼)：**MF**設定時、**MF**調整をします。(p.82)

⑦ OK/DISPLAYボタン
液晶モニターに表示される情報を切り替えます。(p.79)

⑧ MENUボタン
「📷撮影」メニューを表示します。(p.48)



▶モード時

① **電源スイッチ**
電源をオンまたはオフにします。（p.34）

② **シャッターボタン**
半押しすると📷モードに切り替わります。（p.104）

③ **グリーン/🗑ボタン**
1画面表示時は、消去画面に移行します。（p.114）
9画面表示時は、選択消去画面に移行します。（p.116）
再生モードパレット表示時は、選択項目の説明を表示します。（p.62）

④ **ズーム/⊞/🔍ボタン**
1画面表示時に⊞を押すと9画面表示に、もう1度⊞を押すとフォルダ表示になります。🔍を押すと、前の表示に戻ります。（p.105）
1画面表示時に🔍を押すと画像が拡大表示されます。⊞を押すと前の表示に戻ります。（p.107）
動画・音声再生中に音量調節ができます。（p.112、p.146）

⑤ **▶ボタン**
📷モードに切り替えます。（p.104）

⑥ 十字キー

（▲）　　　：動画・音声を再生／一時停止します。（p.112、p.146）
（▼）　　　：再生モードパレットに移行します。（p.61）
再生中の動画・音声を停止します。（p.112、p.146）
（◀ ▶）　　：1画面表示時は、前後の画像・音声を表示します。（p.42）
動画表示時は、コマ送り、コマ戻し、逆方向再生をします。（p.112）
音声再生時は、早送り、巻き戻し、インデックス位置への移動をします。（p.146）
（▲ ▼ ◀ ▶）：拡大表示時は、表示範囲を移動します。（p.107）
9画面表示時は画像、フォルダ表示時はフォルダを選択します。（p.105）

⑦ OK/DISPLAYボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（p.109）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.105、p.107）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.106）

⑧ MENUボタン

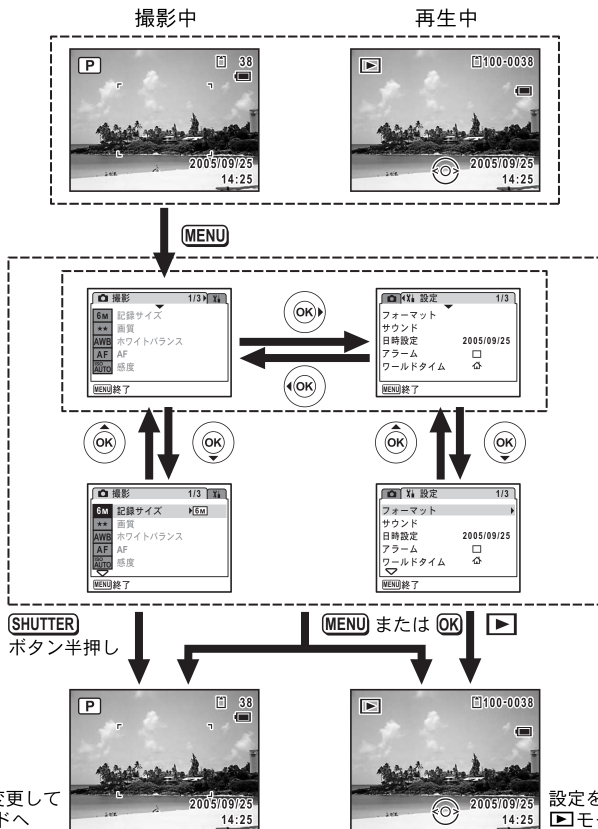
1画面表示時は、「📷撮影」メニューを表示します。（p.48）
再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります。（p.60）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.105、p.107）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.106）

カメラの機能を設定する

カメラの設定を変更するには、**MENU** ボタンを押して、「◘ 撮影」メニューと「設定」メニューを呼び出します。また、画像や音声の再生・編集に関するメニューは、再生モードパレットから呼び出します。

メニューで設定する

MENU ボタンを押すと「◘ 撮影」メニューが表示されます。





メニュー操作中は、使用するボタンやキーの機能が液晶モニターにガイド表示されます。

例）「📷撮影」メニューの「画質」の設定をする

1　📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

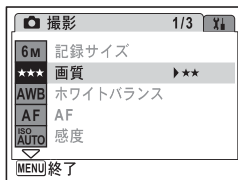


2　十字キー（▼）を押す

選択枠が「記録サイズ」に移動します。

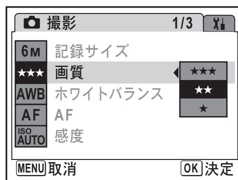
3　十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。



4　十字キー（▶）を押す

選べる内容がポップアップで表示されます。
ポップアップには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。



5　十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、画質が切り替わります。

設定を保存して撮影をしたいとき

6 シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

設定を保存して再生をしたいとき

6 ▶ボタンを押す

設定が保存され、再生できる状態になります。

設定を保存して続いてメニュー操作をしたいとき

6 OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

6 MENUボタンを押す

変更が取り消され、手順3に戻ります。

MENUボタンの機能は、画面によって異なります。ガイド表示を参照してください。

- MENU 終了 ：現在の設定を保存してメニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。
- MENU ⮌ ：現在の設定を保存して、手順3の画面に戻ります。
- MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、手順3の画面に戻ります。

③ 機能共通操作

メニュー一覧

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。カメラの電源をオフにしたとき設定を維持するかどうか、リセットしたときに初期設定に戻すかどうかについては、付録の「初期設定一覧」(p.169) をご覧ください。

「撮影」メニュー

撮影に関するメニューです。

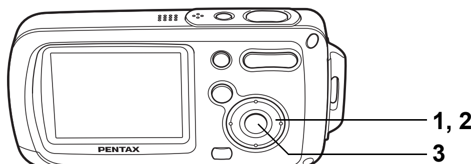
項目		内容	参照
記録サイズ		静止画像の記録サイズを選びます。	p.85
画質		静止画像の画質を選びます。	p.87
ホワイトバランス		撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	p.88
AF	AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	p.90
	フォーカスリミット	レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。	p.90
感度		感度を設定します。	p.92
露出補正		撮影する画像全体の明るさを調整します。	p.78
動画	記録サイズ	動画の記録サイズを選びます。	p.101
	フレームレート	フレームレート(1秒間に撮る画面数)を設定します。	p.102
	カラーモード	動画のカラーモードを選びます。	p.103
デジタルズーム		デジタルズーム撮影を使うかどうかを設定します。	p.77
クイックビュー		クイックビューの表示時間を設定します。	p.93
モードメモリ		電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリーするか、初期設定に戻すかを設定します。	p.97
シャープネス		画像の境界をハードまたはソフトにします。	p.94
彩度		色の鮮やかさを設定します。	p.95
コントラスト		画像の明暗差の度合いを設定します。	p.96



- 「撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しみたいときは、グリーンモードを利用してください。(p.64)
- よく使うメニューは、グリーンボタンに登録しておくと、すばやく呼び出せます。(p.58)

「設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットします。	p.149
サウンド	音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.152
日時設定	日付、時刻、それぞれの表示スタイルを設定します。	p.150
アラーム	アラームを設定します。	p.154
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.156
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を設定します。	p.158
フォルダ名	画像や音声を保存するフォルダの命名方法を設定します。	p.159
USB接続	USBケーブルの接続先（パソコンまたはプリンター）を設定します。	p.160
ビデオ出力	AV機器へのビデオ出力形式を設定します。	p.161
LCDの明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。	p.162
エコモード	節電モードになるまでの時間を設定します。	p.163
クイック拡大	ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を一度押すだけで、画面を最大倍率に拡大するように設定します。	p.108
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	p.164
グリーンボタン	グリーンボタンで呼び出す機能を設定します。	p.58
リセット	日時、言語、ワールドタイム、ビデオ出力、モードパレットの配置以外の設定内容をご購入時の状態に戻します。	p.166



撮影モードを設定する

OptioWPiには、多彩な撮影モードが用意されており、撮影モードパレットで撮影するシーンに合った撮影モードを選ぶだけで手軽にぴったりの雰囲気の写真の撮影、動画の記録、音声の録音ができます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する

撮影モードの選択中にグリーンボタンを押すと、その撮影モードの説明を表示することができます。（p.62）



3　OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。





- P、、、、、 以外の撮影モードでは、ストロボ発光の有無、ピント位置、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスなどが自動的に各モードに最適な値に設定されています。
- 撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、設定できても動作に反映されない場合があります。詳しくは、「撮影モードごとの使える機能／使えない機能」（p.172）をご確認ください。
- フォーカスモードを**MF**に設定しているときは、十字キー（▼）を押しても、撮影モードパレットは表示されません。

撮影モードには、次の22のモードがあります。

① Ⓟプログラム
一般的な撮影に適しています。さまざまな機能を設定して撮影することもできます。（p.63）

② 夜景
夜景撮影に最適です。三脚などで固定して撮影してください。人物も入る場合はストロボを発光させてください。（p.66）



③ 動画
動画を撮影するときに設定します。音声も同時に記録されます。（p.99）

④ ボイスレコーディング
音声を記録するときに設定します。カメラ上部のマイクを手でふさがないように注意してください。（p.144）

⑤ ピクチャーボイス
シャッターチャンスの前後10秒の音声を自動的に記録します。（p.71）

⑥ 風景
風景の撮影に適しています。広い範囲にピントが合うようになっています。



⑦ 花
花をきれいに撮影するのに適しています。花の輪郭を柔らかめに表現します。



⑧ ポートレート
人物を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。



⑨ マーメード
水中で撮影した写真をきれいに仕上げます。水の青さを美しく撮影します。（p.70）



⑩ サーフ＆スノー
砂浜や雪山など、背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。



⑪ スポーツ
動きの速いものを撮影するのに最適です。シャッターを切るまで動くものにフォーカスを合わせ続けます。



⑫ キッズ
動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。



⑬ ペット
ペットを撮影するのに最適です。シャッターを切るまで動き回るペットにフォーカスを合わせ続けます。ペットの毛色に合わせた撮影をすることもできます。（p.67）



⑭ キャンドルライト

キャンドルライトの雰囲気を生かして撮影します。記録サイズは1280×960に固定されます。（p.66）



⑮ SOFT ソフト

輪郭をぼかした柔らかな描写で撮影します。



⑯ パノラマアシスト

付属ソフトで写真をつなぎ合わせてパノラマ写真を簡単に作成することができます。（p.68）

⑰ 花火

花火をきれいに撮影します。シャッター速度が4秒に固定されますので三脚などで固定して撮影してください。（p.66）



⑱ セルフポートレート

自分撮りやツーショット写真に適しています。フォーカスと色調整をしています。



⑲ 美肌

ポートレートモードよりも肌色がより美しく見えるよう、色と明るさを設定しています。



⑳ 料理

料理の撮影に適しています。彩度をやや高めにし、色鮮やかに仕上げます。



㉑ 美術館

美術館などストロボを発光させたくない場所での撮影に適しています。手ぶれに注意してください。



㉒ CALS

建設工事現場での撮影に最適です。建設CALSに準拠した電子納品に適したサイズ(1280×960)で記録します。





撮影モードは、撮影モードパレットに登録して使用します。ご購入時の状態では、①から⑮までの15の撮影モードが登録されています。撮影パレットに登録する撮影モードは、自由に変更できます。

撮影モードアイコンを入れ替える

このカメラには、撮影モードが22あり、そのうち15が撮影モードパレットに登録されています。
登録されている撮影モードは入れ替え可能です。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で登録から外したい撮影モードを選ぶ



3　ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押す

撮影モードの選択画面が表示されます。



4　十字キー（◀▶）で置き替えるモードのアイコンを選び、OKボタンを押す

選んだモードに置き換えられます。



- 撮影モードの選択画面でグリーンボタンを押すと、その撮影モードの説明を見ることができます。（p.62）
- 撮影モードパレット上の並び順、登録されている撮影モードは、「設定」メニューの「リセット」をしてもご購入時の状態に戻せません。

特定のメニューをすばやく呼び出す

グリーンボタンにメニュー項目を登録すると、グリーンボタンを押したとき、順番に設定したメニューが表示されます。露出補正や感度、ホワイトバランスなど、よく使う機能を登録しておくと、短い操作で設定ができます。



- グリーンボタンに登録できるのは、グリーンモード、記録サイズ、画質、ホワイトバランス、AFエリア、フォーカスリミット、感度、露出補正、シャープネス、彩度、コントラストです。
- ご購入時の状態では、「1」にグリーンモードが設定され、残りの3つの数字にはメニュー項目が設定されていません。
- 「グリーンボタン」は「設定」メニューの「リセット」でご購入時の状態に戻せます。
- グリーンボタンに登録した機能は、元のメニュー（「撮影」「設定」）でも同じように使用できます。
- 同じ項目について、グリーンボタンで表示するメニューと元のメニューで別々の設定を登録することはできません。

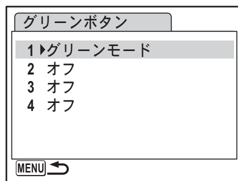
グリーンボタンに登録する

1　「設定」メニューの「グリーンボタン」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

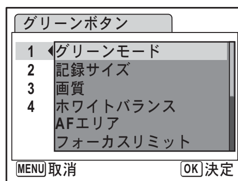
「グリーンボタン」画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で設定する番号を選ぶ



4 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。



5 設定する機能を選び、OK ボタンを押す

6 手順3～5を繰り返し、必要な機能を登録する

7 シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。

グリーンボタンを使う

1 📷モードでグリーンボタンを押す

「設定」メニューの「グリーンボタン」で「1」に割り当てた機能が呼び出されます。



グリーンボタンに次に割り当てられている機能

2 もう一度グリーンボタンを押す

「2」に割り当てた機能が呼び出されます。右の画面が表示されている間に、繰り返しグリーンボタンを押すと、「3」、「4」に割り当てた機能が呼び出されます。



3 設定を変更し、OK ボタンを押す

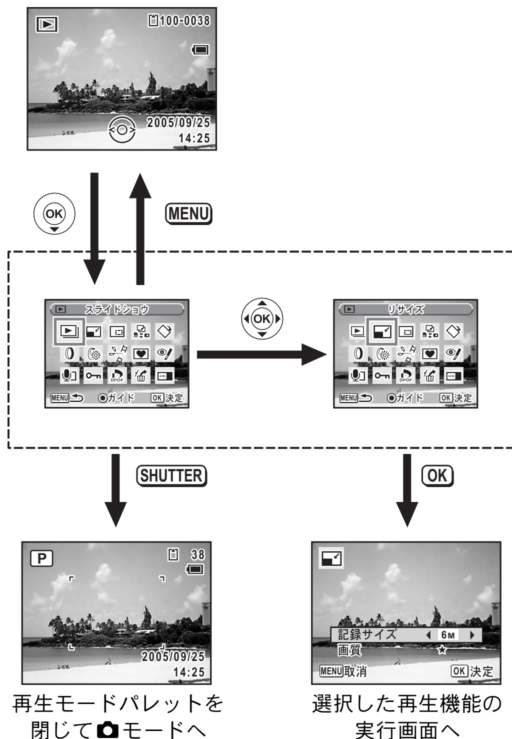
撮影できる状態になります。



- グリーンボタンにグリーンモードを割り当てている場合、グリーンボタンを押した1秒後にグリーンモード（p.64）になります。
- グリーンモード以外の機能を割り当てている場合、グリーンボタンを押した後に5秒間何もしないと元の画面に戻ります。

再生モードを設定する

再生中に十字キー（▼）を押すと再生モードパレットが表示されます。十字キー（▲▼◀▶）を使ってアイコンを選び、**OK** ボタンを押すだけで、使用したい再生機能を呼び出すことができます。



再生モードパレットを閉じて📷モードへ

選択した再生機能の実行画面へ

再生モードパレット一覧

項目			内容	参照
	スライドショウ		保存された画像を連続して再生します。	p.110
	リサイズ		画像の記録サイズと画質を変更します。	p.122
	トリミング		画像周囲の不要な部分をカットします。	p.124
	画像/音声コピー		内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。	p.125
	画像回転		撮影した静止画を回転表示します。	p.43
	デジタルフィルタ		撮影した静止画の色調を変更します。	p.127
	明るさフィルタ		撮影した静止画の明るさを変更します。	p.128
	動画編集	静止画保存	動画の1コマを静止画として保存します。	p.133
		動画分割	1つの動画を2つに分割します。	p.134
		動画結合	2つの動画を結合します。	p.135
	フレーム合成		撮影した静止画に飾り枠を合成します。	p.130
	赤目補正		ストロボ撮影で人物の目が赤く写った静止画を補正します。	p.129
	ボイスメモ		撮影した静止画に音声（ボイスメモ）を付けます。	p.147
	プロテクト		画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。	p.120
DPOF	DPOF		撮影した静止画にDPOF設定をします。	p.136
	削除画像復活		消去した画像を元に戻します。	p.119
OPTIO	起動画面設定		起動画面を設定します。	p.165

撮影／再生モードの説明を見る

撮影モードパレットや再生モードパレットでモードを選択中にグリーンボタンを押すと、その選択項目の説明が表示されます。

1　モードで十字キー（▼）を押す。

撮影モードパレットが表示されます。
モードで十字キー（▼）を押すと、再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する。

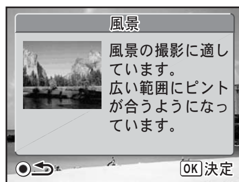


3　グリーンボタンを押す

選択中の撮影モードの説明が表示されます。

4　OK ボタンを押す

選択した撮影モードで撮影できる状態になります。

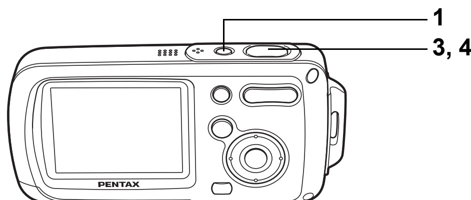




説明文が表示されているときにグリーンボタンを押すと、撮影モードパレットや再生モードパレットに戻ります。

3
機能共通操作

撮影する



P

カメラまかせで撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して撮影します。ストロボの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。

2 必要に応じて使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」(p.81～p.96) をご覧ください。



3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

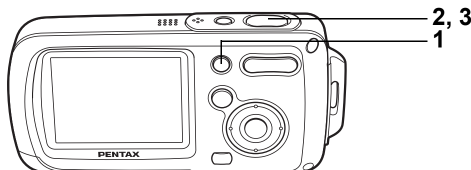
4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。



P モード以外の撮影モードが選択されているときは、撮影モードパレットでPモードを選択します。(p.53)

静止画を撮影する ☞p.40





簡単撮影モードで撮影する（グリーンモード）

グリーンモードでは、「A撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定（※）で手軽に撮影を楽しめます。

4
撮影

1 Aモードでグリーンボタンを押す

グリーンモードに切り替わります。
もう1回グリーンボタンを押すと、グリーンモードに入る前の撮影モードに戻ります。



2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

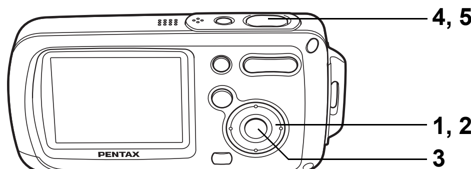
撮影されます。



- グリーンボタンに他の機能を登録している場合、グリーンボタンを押すごとに、登録している機能が順番に表示されます。（p.59）
- グリーンモードでは、**OK** ボタンを押して情報表示を切り替えることはできません。
- グリーンモードでは、「A撮影」メニューや撮影モードパレットを使用できません。「A撮影」メニューや撮影モードパレットを表示させようとするとz（キーロック表示）が表示されます。
- グリーンモードからQモードに移行した場合、**MENU** ボタンを押しても、「A撮影」メニューを表示できません。「A撮影」メニューを表示させようとするとz（キーロック表示）が表示されます。
- 撮影モードをグリーンモードにしたまま電源をオフにすると、次回もグリーンモードで起動します。

※ グリーンモードでの設定値は、以下のとおりです。

ストロボモード	⚡A（オート）
ドライブモード	□（標準）
フォーカスモード	**AF**（オートフォーカス）
情報表示	標準
記録サイズ	6M（フレーム合成時のみ3M）
画質	★★（ファイン）
ホワイトバランス	**AWB**（オート）
AFエリア	[ ]（マルチ）
フォーカスリミット	☑（オン）
感度	オート
露出補正	±0.0
デジタルズーム	☑（オン）
クイックビュー	1秒
シャープネス	−・+（標準）
彩度	−・+（標準）
コントラスト	−・+（標準）





暗いシーンを撮影する（夜景／キャンドルライト／花火モード）

夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

	夜景を撮影するときに使います。
	キャンドルライトの雰囲気を活かした撮影に最適です。
	花火をきれいに撮影します。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（夜景）、（キャンドルライト）または（花火）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

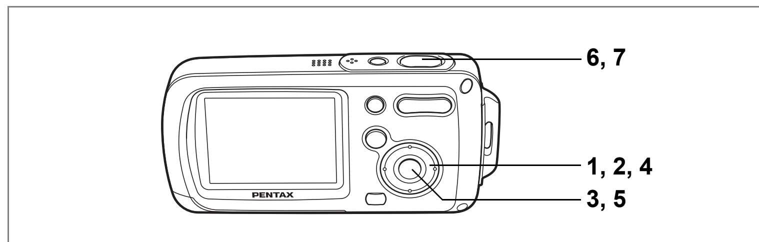
5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。



- 暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなります。
- 手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.72）
- モードでは、感度を800まで設定できます。また、感度を「オート」に設定すると、80～800の間で自動調整されます。（p.92）記録サイズは、1280×960に固定されます。
- モードが撮影モードパレットに表示されていないときは、撮影モードパレットに登録してください。（p.57）
- では、感度は80、フォーカスモードは▲、ストロボモードはに固定されます。また、露出補正はできません。

4
撮影





ペットを撮影する（ペットモード）

ペットモードでは、動き回るペットにフォーカスを合わせ続け、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいか、中間の色かでアイコンの色を選択してください。

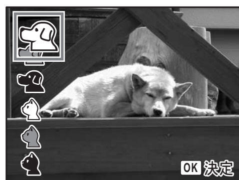
1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◄►）で（ペット）を選ぶ

3 OKボタンを押す

ペットモードの選択画面が表示されます。

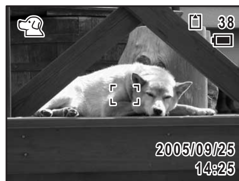


4 十字キー（▲▼）でを選ぶ

ペットアイコンには犬柄と猫柄の2タイプがあります。
（犬アイコンと猫アイコンは絵柄が違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

5 OKボタンを押す

ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

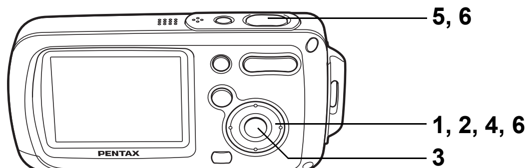


6 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。





パノラマ撮影をする（パノラマアシストモード）

同梱のCD-ROM（S-SW30）に搭載されているソフトウェア（ACDSee for PENTAX、ACD photostitcher）を使って何枚かの写真をつなぎ合わせたパノラマ写真を簡単に作成できます。パノラマアシストを選択すると、後でパノラマ写真合成が行いやすいよう、画像の端と端が重なるように撮影することができます。

1　Aモードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（パノラマアシスト）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　十字キーでつなげる方向を選ぶ



◀ ：画像を左につなぐ
▶ ：画像を右につなぐ
▲ ：画像を上につなぐ
▼ ：画像を下につなぐ

ここでは▶を選んだ場合について説明します。

5　1枚目の画像を撮影する



シャッターボタンを全押しすると1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニターの左端に透過表示されます。

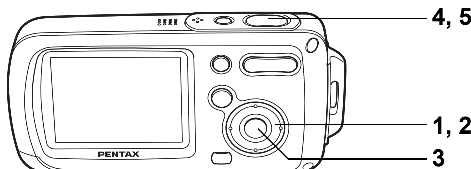
6 カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する

実画像が左端の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。3枚目以降の画像も、手順5、6を繰り返して撮影します。



注意

パノラマ合成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX、ACD photostitcher）を使用します。パノラマ合成については、別冊の『ACDSee for PENTAXユーザーズマニュアル』をご覧ください。





水中で撮影する（マーメードモード）

このカメラはJIS防水保護等級8級、JIS防塵保護等級5級(IP58)に準拠した防水・防塵機能を備えており、水深1.5mで連続30分間撮影できます。
水中で撮影するときは、マーメードモードを使うと、水の青さを美しく撮影できます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（マーメード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

マーメードモードが選択され、撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

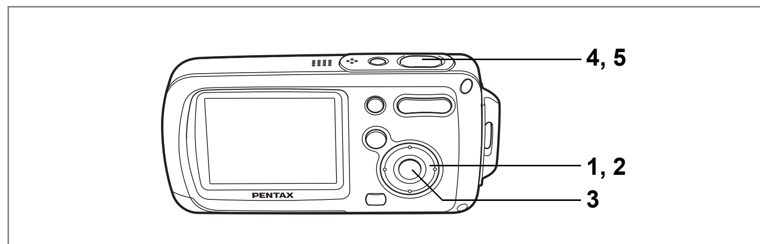
5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

注意

- 水中で撮影するときは、バッテリー／カードカバーの防水パッキンにゴミや砂などが付着していないことを十分に確認し、バッテリー／カードカバーをしっかりとロックしてご使用ください。（p.23）
- ご使用後にバッテリー／カードカバーを開けるときは、バッテリー／カードカバーを含むカメラ全体に水やゴミ、砂などが付着していないことを十分に確認してください。もし付着していたら、よく拭き取ってから、カバーを開けてください。

防水・防塵機能について ☞p.4





音を入れて撮影する（ピクチャーボイスモード）

シャッターボタンを全押しする直前の10秒間と押した直後の10秒間、計20秒間の音声を静止画と同時に記録できます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（ピクチャーボイス）を選ぶ

3　OKボタンを押す

ピクチャーボイスモードが選択され、撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

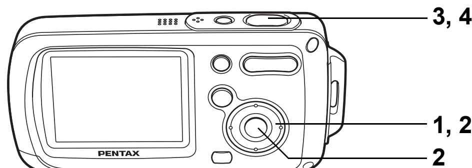
5　シャッターボタンを全押しする

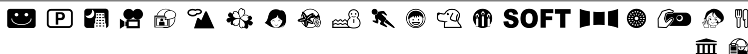
撮影されます。
クイックビュー画面で残りの録音時間がカウントダウン表示されます。





- ピクチャーボイスモードで録音された音声は、ボイスメモを再生するのと同じ操作で再生できます。（p.148）
- ピクチャーボイスモードでは、フォーカスモードの初期設定が**PF**（パンフォーカス）になります。（p.81）
- ピクチャーボイスモードを選択した時点から、撮影前の音声録音が始まります。そのうち、シャッターボタンを全押しする直前の10秒間が撮影前の音声として記録されます。それ以前の音声は記録されません。
- 撮影後の音声録音中にシャッターボタンを全押しすると、その時点で次の撮影に移るため、録音される音声の時間が短くなる場合があります。







セルフタイマーを使って撮影する

4 撮影

シャッターボタンを押してから、10秒または2秒後に撮影されます。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚等に固定してください。

⏲	撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できます。 シャッターボタンを押してから約10 秒後に撮影されます。
⏲2S	シャッターボタンを押してから2秒後に撮影されますので、手ぶれを避けるために利用できます。

1 📷モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀▶▼）を押して、⏲ または⏲2Sを選択し、OK ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。



3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

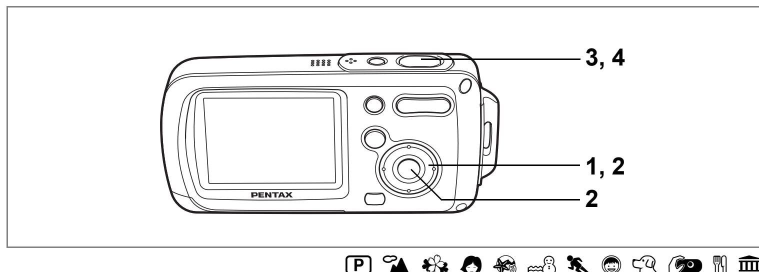
10秒後または2秒後に撮影されます。

注意

静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。



- 🎥モードでは、10秒（または2秒）後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。
- ⏲2Sは☺の初期設定では選べません。ただし、他の撮影モードで⏲2Sを選んでから、撮影モードを☺に切り替えると、選べるようになります。



連続して撮影する（連続撮影／高速連写）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

	連続撮影	1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて次の静止画を撮影します。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。
	高速連写	バッファメモリーの容量いっぱいまで、3コマ／秒の速度で連続して撮影します。

1 モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀ ▶ ▼）を押して、（連続撮影）または（高速連写）を選択し、OK ボタンを押す

連続撮影できる状態になります。



3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

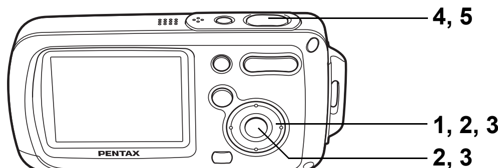
シャッターボタンを押し続けている間、連続して写真が撮影されます。

注意

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 、、、、SOFT、、、、 モードでは、連続撮影はできません。

メモ

- SD メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。
- 高速連写の記録サイズは、1280×960に固定されます。
- ピント、露出、ホワイトバランスは、1枚目で固定されます。





フレーム撮影をする

カメラ内に保存されているフレームに合わせて撮影することができます。あらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1　モードで十字キー（▲）を押す

ドライブモードを選択する画面が表示されます。

2　十字キー（◀▶）で（フレーム合成）を選び、OKボタンを押す



フレームの選択画面が表示されます。



3　十字キー（◀▶）で使用するフレームを選び、OKボタンを押す

フレーム付きの撮影画面が表示されます。



4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

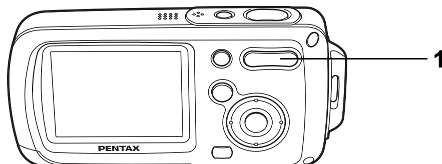
4
撮影

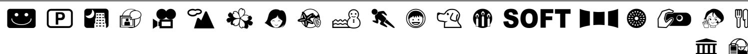
5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。



- フレーム撮影機能は、🎥、🎤、🎨、🎭、▮▮▮、🎨モードでは使用できません。
- フレーム選択画面でMENUボタンを押すと、「📷撮影」メニューが表示されます。
- フレーム撮影には、内蔵メモリーに保存されているフレームが使用されます。それらのフレームは、フレーム選択画面でグリーンボタンを押すとSDメモリーカード内に保存されているフレームと置き換え可能です。（p.131）
- フレーム撮影の記録サイズは3Mに、画質は★★に固定されます。







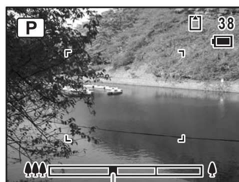
ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 モードでズーム/ / ボタンを押す

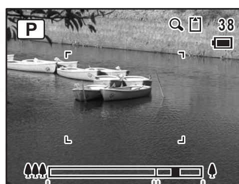
望遠：被写体を拡大して写す
広角：被写体を広い範囲で写す
ズームバーで現在の拡大状況が確認できます。

デジタルズーム機能が□（オフ）のときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能が☑（オン）のときは、光学ズームと合わせて最大約12倍相当まで拡大して撮影できます。



ズームバー

を押す



光学ズーム領域　デジタルズーム領域



- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像の細密さが低下します。

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは☑（オン）に設定されています。光学ズーム領域だけを使って撮影したい場合は、□（オフ）に設定します。

1　📷モードでMENUボタンを押す

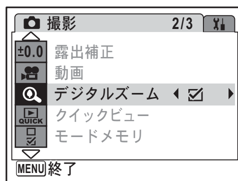
「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

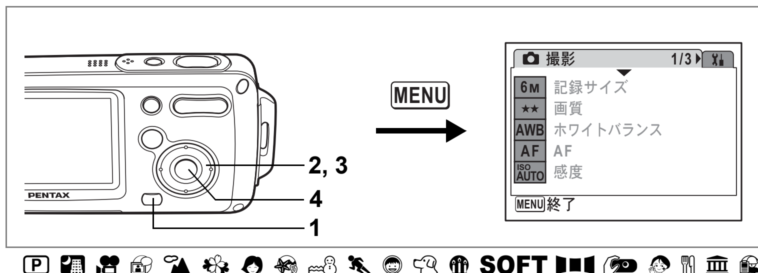
3　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

4　シャッターボタンを半押しする

デジタルズーム機能の設定が保存され、撮影できる状態になります。

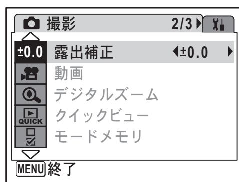


デジタルズーム機能の設定を保存する ☞p.97



露出を補正する

撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。



1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）を押す

露出補正量を選択できます。
明るくする場合は+側に、暗くする場合は–側に設定します。
露出補正の値は、–2.0EV～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

4 OKボタンを押す

露出補正値が保存され、撮影できる状態になります。



- 露出補正機能をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.58）
- ヒストグラムを表示すると、液晶モニター上に白とび、黒つぶれ個所が表示され、露出が適切かどうかを確認できます。（p.80）

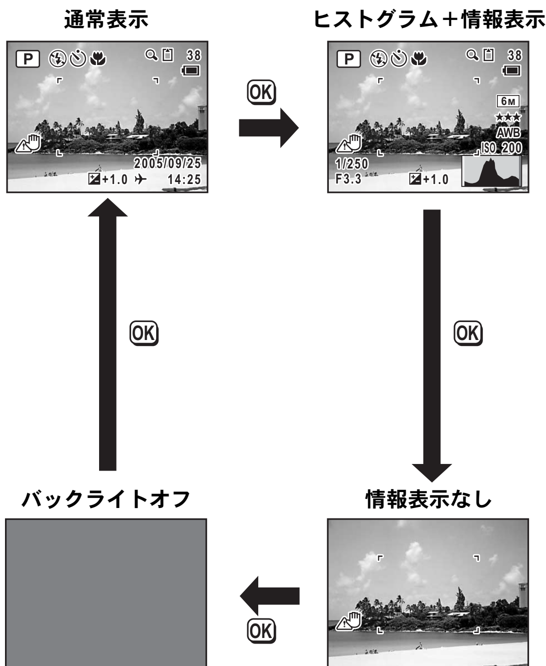
露出補正値を保存する ☞p.97

撮影情報を確認する

OK ボタンを押すたびに、液晶モニターの表示が「通常表示」「ヒストグラム＋情報表示」「情報表示なし」「バックライトオフ」に切り替わります。
表示内容の詳細は、「画面の表示」（p.18）をご覧ください。

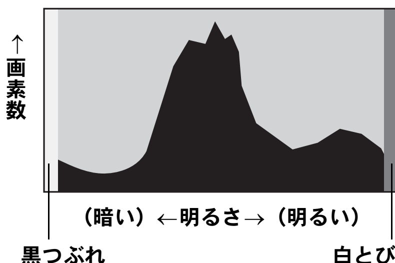


- バックライトがオフの時にも、すべてのボタンは通常通り使用できます。シャッターボタンを押せば、通常通り撮影できます。
- 手ぶれしやすい条件のとき、が表示されます。手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.72）



ヒストグラムを使う

ヒストグラムとは、画像の明るさの分布を表したグラフです。横軸は明るさ（左端は黒、右端は白）を、縦軸は各明るさのごとの画素数を示します。
撮影前や撮影後にヒストグラムの形状を見ることで、画像の明るさと明暗差が適正かどうかを確認し、露出補正や撮り直しの判断にご利用いただけます。

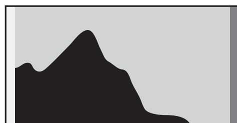


露出を補正する ☞p.78

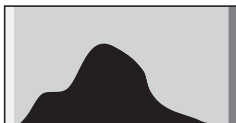
画像の明るさを見る

画像の明るさが適正な画像では、グラフの山は中央にあります。しかし、暗い画像ではグラフの山は左側に偏り、明るい画像では右側に偏ります。

暗い画像



適正な明るさの画像



明るい画像

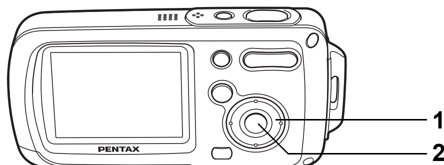


また、画像の中で、暗過ぎてヒストグラムの左端よりも左に来てしまう部分は真っ黒になり（黒つぶれ）、明る過ぎてヒストグラムの右端よりも右に来てしまう部分は真っ白になってしまいます（白とび）。
OptioWPiには、黒つぶれ部分を黄色く、白とび部分を赤く点滅表示させる機能があります。

撮影情報を確認する ☞p.79
撮影時の情報を表示する ☞p.109

明暗差のバランスを見る

明暗差のバランスが取れた画像では、グラフの中央部になだらかな山のピークが来ます。しかし、明暗差が激しく、中間的な明るさの部分が少ない画像では、左右に山のピークが来て、中央部分がくぼんだグラフになります。





ピントの合わせ方を選ぶ（フォーカスモード）

フォーカスモード

AF	オートフォーカス	被写体までの距離が40cm 以上のときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
マクロ	マクロ	被写体までの距離が約1cm～約60cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
無限遠	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。ストロボは（発光禁止）となります。
PF	パンフォーカス	他の人に撮ってもらうときや、車や電車の窓越しに外の風景を撮るときなどに使用します。手前から奥までシャープにピントが合うようになります。
MF	マニュアルフォーカス	手動でピントを合わせます。

1 モードで十字キー（▶）を押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。



2 OK ボタンを押す

フォーカスモードが保存され、撮影できる状態になります。



- ◎モードでは、フォーカスモードは▲に固定されます。
- ◙モードでは、AFと❀のみ選択できます。
- 🎥モードでは、▲、PF、MFのみ選択できます。

フォーカスモードを保存する ☞p.97

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

MFでの設定方法を説明します。

1 📷モードで十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▶）を押してMFを選び、OKボタンを押す

ピント合わせ中は、画面中央部が液晶モニターいっぱいに拡大して表示されます。



3 十字キー（▲▼）を押す

液晶モニターにMFバーが表示され、おおよその距離が表示されます。これを目安に十字キー（▲▼）でピントを合わせます。

▲ ：遠くにピントが合う
▼ ：近くにピントが合う



MFバー

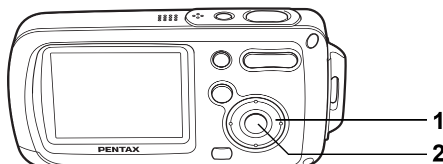
4 OKボタンを押す

フォーカス位置が決まり、撮影できる状態になります。
十字キー（▶）から手を離して5秒以上経過した場合も、フォーカス位置が決まります。

注意

MFでは、撮影モードやドライブモードを変更できません。

4 撮影





ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

⚡A	オート	暗いときや逆光のときにストロボを発光します。
⊘	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。ストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
👁⚡	強制＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。
SOFT⚡	ソフト	ストロボの光量を絞り、近い距離でストロボを発光しても、明るすぎないようにします。常にストロボを発光します。



- 撮影モードが、、ドライブモードが、、フォーカスモードがに設定されているときは、常に発光禁止になります。
- 赤目軽減機能を使用した場合は、本発光の前にプリ発光（予備発光）を行います。
- モードでは、⚡Aと⊘のみ選択できます。

1 モードで十字キー（◀）を押す

押すたびに発光方法が切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。



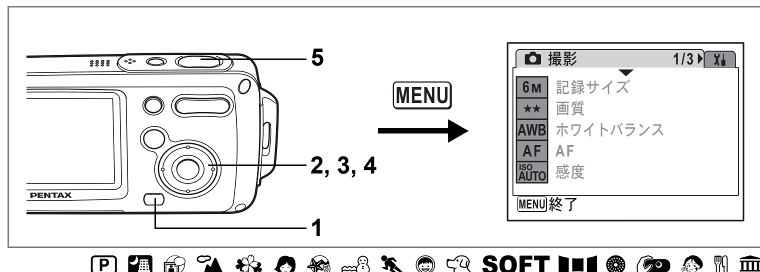
2 OK ボタンを押す

選択したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

[ストロボ撮影の赤目現象について]

ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。赤目現象は、人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くして広角側で撮影すると、発生しにくくなります。また、ストロボの発光方法を（オート＋赤目）や（強制＋赤目）にするのも有効です。
それでも赤目になってしまった画像は、赤目補正機能（p.129）を使って修正できます。

ストロボ発光方法を保存する ☞p.97



P SOFT

記録サイズを選択する

静止画像の記録サイズ（記録画素数）を7種類から選べます。
記録サイズが大きいほど、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。ただし、写真のきれいさには画質や露出制御、使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、むやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、2M（1600×1200）程度が目安となります。記録サイズが大きくなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。ただし、画像の容量は画質の設定（p.87）によっても異なります。

記録サイズ

記録サイズ	用途	
6M 2816×2112	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など
5M 2560×1920		
4M 2304×1728		
3M 2048×1536		
2M 1600×1200		はがきサイズプリントなど
1024 1024× 768		
640 640× 480		ホームページ掲載、電子メール添付など

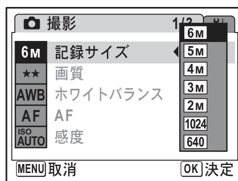
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。



4 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

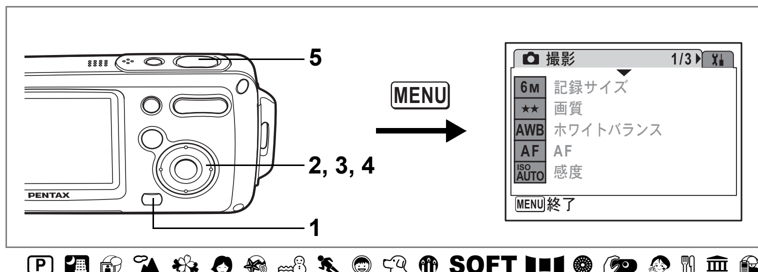
5 シャッターボタンを半押しする

記録サイズの設定が保存され、撮影できる状態になります。



- ドライブモードが[icon]に設定されているときは、記録サイズは3M、画質は★★に固定されます。
- ドライブモードが[icon]、撮影モードが[icon]、[icon]に設定されているときは、記録サイズが、1280×960となります。
- 「記録サイズ」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.58）

静止画の記録サイズと画質 ☞p.31



画質を選択する

静止画像の画質（圧縮率）が選べます。
★の数が多いほど、圧縮率は低くなり、画像はきれいになりますが、容量も増えます。ただし、画像の容量は、記録サイズの設定（p.85）によっても異なります。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

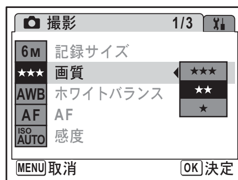
1 ◘モードでMENUボタンを押す

「◘撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。



4 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

5 シャッターボタンを半押しする

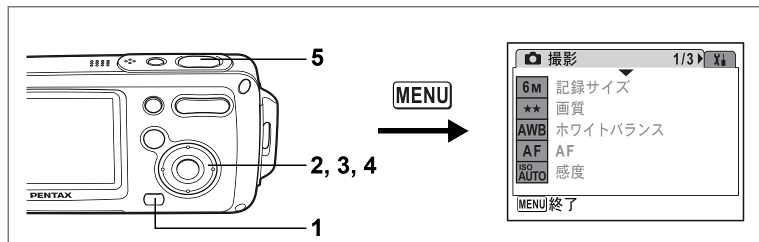
画質の設定が保存され、撮影できる状態になります。



- 「画質」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.58）
- ドライブモードが◘に設定されているときは、画質は★★に固定されます。

静止画の記録サイズと画質 ☞p.31

4 撮影





ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色合いに調整する度合いを設定します。

4 撮影

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
日陰アイコン	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
白熱灯アイコン	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
蛍光灯アイコン	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
マニュアルアイコン	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

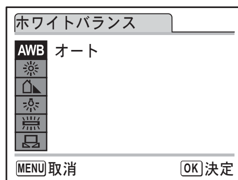
1　📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「ホワイトバランス」画面が表示されます。



4　十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

ホワイトバランスの設定が保存され、撮影できる状態になります。

マニュアルで設定する場合は、p.89をご覧ください。



「ホワイトバランス」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。(p.58)

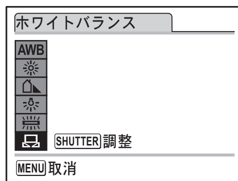
ホワイトバランスを保存する ☞p.97

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1 「ホワイトバランス」画面で十字キー（▲▼）を押して (マニュアル）を選ぶ

2 ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニター画面いっぱいに素材が入るよう、カメラを構える



3 シャッターボタンを全押しする

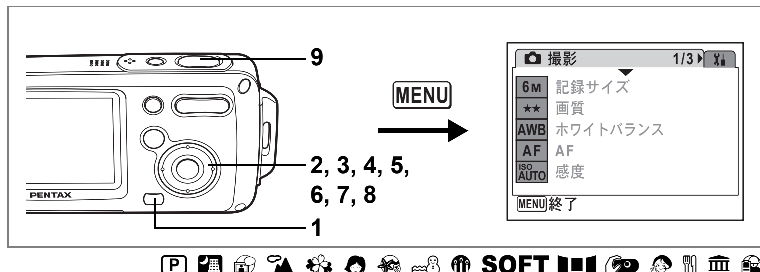
ホワイトバランスが自動的に調整されます。

4 OKボタンを押す

今行った設定が保存され、「撮影」メニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。



P SOFT

オートフォーカス条件を設定する

オートフォーカスに関するいろいろな条件を設定します。

オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

[　]	マルチ	通常範囲に設定します。
[]	スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。
自動追尾アイコン	自動追尾	動き回る被写体にフォーカスを合わせ続けます。

メモ

で選べる「AFエリア」は、[　]（マルチ）と[]（スポット）のみです。

フォーカスリミットを設定する

レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。
「フォーカスリミット」を☑にすると、レンズの移動が通常の撮影では通常の範囲から遠距離側に、マクロ撮影では近距離側に制限されます。素早いピント合わせが可能になります。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「AF」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

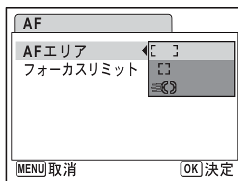
「AF」画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

4 撮影

5　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。



6　十字キー（▲▼）でAFエリアを切り替える

7　十字キー（◀）、続いて十字キー（▼）を押して「フォーカスリミット」を選ぶ

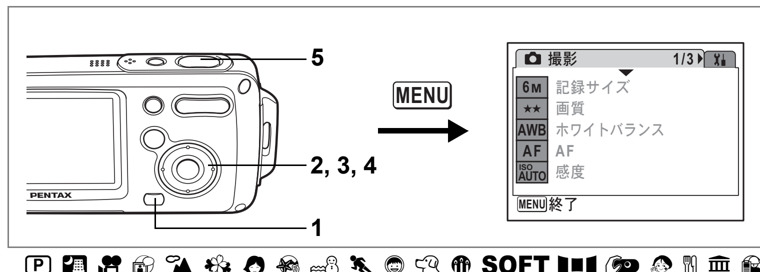
8　十字キー（◀▶）を押して☑／□を切り替える

9　シャッターボタンを半押しする

AFの設定が保存され、撮影できる状態になります。



「AFエリア」と「フォーカスリミット」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.58）



P SOFT

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。初期設定は、オートです。

感度

オート	80～320までの間で自動調整されます。
80	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像にはノイズが増えます。
160	
320	
400	

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

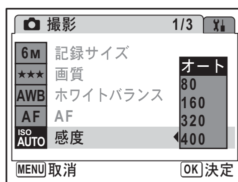
3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で感度を選ぶ

5 シャッターボタンを半押しする

感度の設定が保存され、撮影できる状態になります。

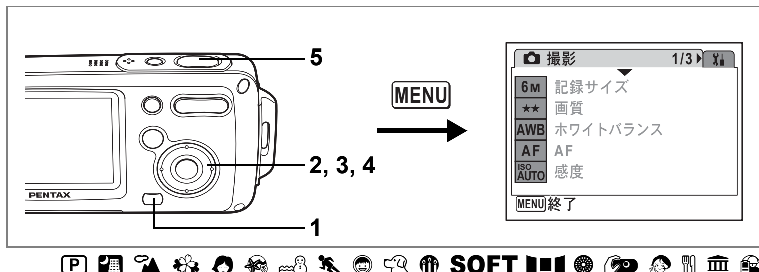




- 撮影モードが、に設定されているときは、選択肢に800が追加されます。また、「オート」に設定すると80～800の間で自動調整されます。
- 撮影モードがに設定されているときは、80に固定されます。それ以外の感度には変更できません。
- 「感度」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。(p.58)

感度を保存する ☞p.97

4 撮影



SOFT

クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、オフ（表示しない）から選びます。初期設定は、1秒です。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「クイックビュー」を選ぶ

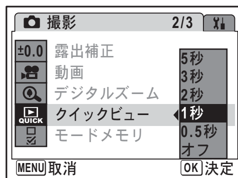
3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で表示時間を選ぶ

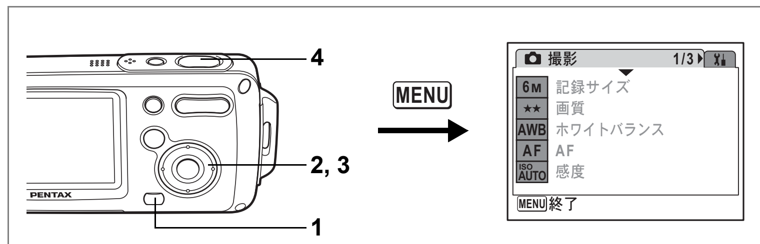
5　シャッターボタンを半押しする

クイックビューの設定が保存され、撮影できる状態になります。



クイックビュー ☞p.41

4
撮影





シャープネスを設定する

画像の境界をハードまたはソフトにします。

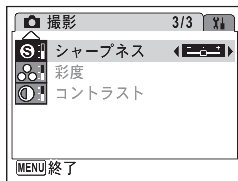
1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で（ソフト）（標準）（ハード）を切り替える

–側がソフト、+側がハードになります。

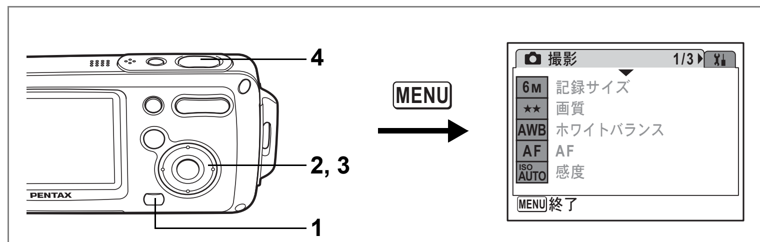


4　シャッターボタンを半押しする

シャープネスの設定が保存され、撮影できる状態になります。



「シャープネス」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.58）





彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

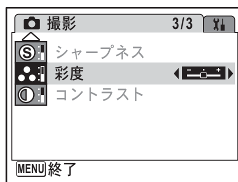
1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で（低）（標準）（高）を切り替える

–側が彩度が低く、+側が彩度が高くなります。

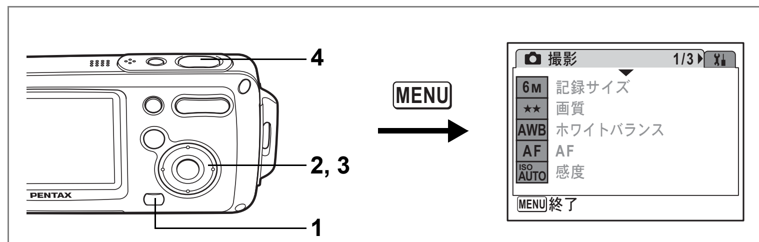


4 シャッターボタンを半押しする

彩度の設定が保存され、撮影できる状態になります。



「彩度」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.58）





コントラストを設定する

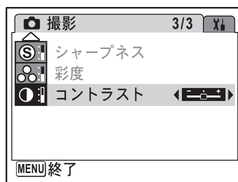
画像の明暗差の度合いを設定します。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で（低）（標準）（高）を切り替える



–側がコントラストが低く、+側がコントラストが高くなります。

4　シャッターボタンを半押しする

コントラストの設定が保存され、撮影できる状態になります。

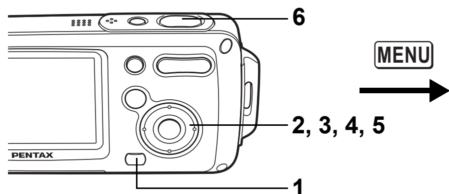


「コントラスト」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.58）

設定を保存する（モードメモリ）

カメラの電源をオフにしても、カメラの諸設定を維持する機能を「モードメモリ」と呼びます。
撮影のための設定には、モードメモリが常に☑（オン）のもの（電源をオフにしても常に設定を維持するもの）と、モードメモリのオン／オフが選べるもの（電源をオフにしたときに設定を維持するかどうかを選べるもの）があります。モードメモリのオン／オフが選べる項目を表に示します。（ここに示した以外の項目は、電源をオフにしても常に設定が保存されます）☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリーします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときにその項目の設定がご購入時の状態に戻ります。表では、モードメモリの初期設定がオンの状態なのか、オフの状態なのかも示しています。

項目	内容	初期設定
ストロボモード	十字キー（◀）で設定したストロボモード（p.83）	☑
ドライブモード	十字キー（▲）で設定したドライブモード（p.72、p.73、p.74）	□
フォーカスモード	十字キー（▶）で設定したフォーカスモード（p.81）	□
ズーム位置	ズーム/♠♠♠/♠ボタンで設定したズーム位置（p.76）	□
MF位置	十字キー（▶）で設定したマニュアルフォーカスでのピントの合う距離（p.82）	□
ホワイトバランス	「撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定（p.88）	□
感度	「撮影」メニューの「感度」で設定した値（p.92）	□
露出補正	「撮影」メニューの「露出補正」で設定した値（p.78）	□
デジタルズーム	「撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（p.77）	☑
DISPLAY	**OK** ボタンで設定した液晶モニターの情報表示状態（p.79、p.109）	□
ファイルNo.	オンにすると、SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連続したファイル番号を使用	☑





1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

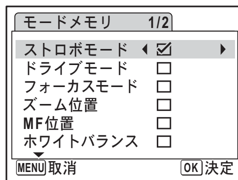
「モードメモリ」画面が表示されます。

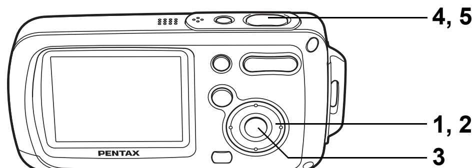
4　十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

モードメモリの設定が保存され、撮影できる状態になります。







動画を撮影する

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

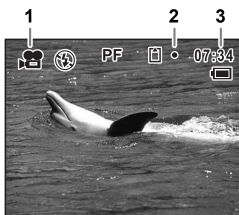
2　十字キー（▲▼◀▶）で（動画）を選ぶ



3　OK ボタンを押す

モードが選択され、撮影できる状態になります。
液晶モニターに次の情報が表示されます。

1 動画モードアイコン
2 録画中アイコン（録画中に点滅）
3 撮影可能時間



ズーム/♠♠♠/♠ ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♠　：被写体を拡大して写す
♠♠♠：被写体を広い範囲で写す

4　シャッターボタンを全押しする

撮影が開始されます。



- 🎥モードでは、ストロボは発光しません。
- 🎥モードで使用可能なフォーカスモードは、PF、▲、MFのみです。
- 撮影開始前は光学ズームとデジタルズームが、撮影中はデジタルズームのみが使用できます。
- 動画撮影中は、OKボタンを使って液晶モニターの表示を切り替えても、ヒストグラムは表示されません。

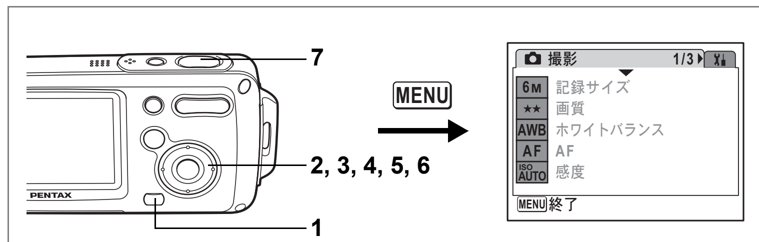
5　シャッターボタンを全押しする

撮影が終了します。

動画を再生する ☞p.112

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。





動画の記録サイズを選択する

動画の記録サイズを「320 (320×240)」、「160 (160×120)」から選べます。記録サイズが大きくなるほど、ファイルの容量も増えます。画像の容量はフレームレートの設定によっても異なります。(p.33)

動画の記録サイズ

320 (320×240)	パソコンの画面で見るのに適しています。
160 (160×120)	ファイルサイズは小さくなりますが、記録時間は長くなります。電子メールやホームページでの公開に適しています。

1 📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

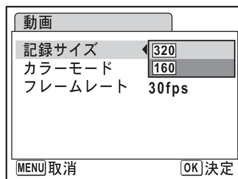
3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「記録サイズ」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。



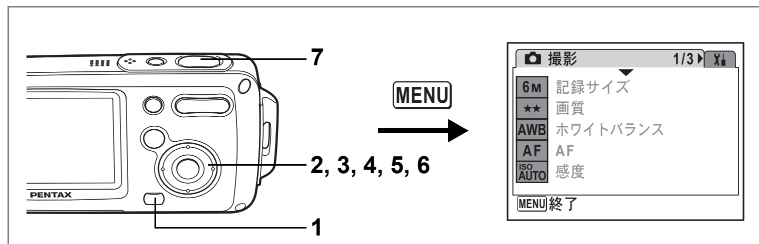
6 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

7 シャッターボタンを半押しする

記録サイズの設定が保存され、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズとフレームレート ☞p.33

4 撮影





フレームレートを選択する

フレームレート（1秒間に撮る画面数）を設定します。フレームレートが大きければ、滑らかな画像になりますが、データ量が増えます。30fps（フレーム／秒）と15fps（フレーム／秒）が選べます。

1 ◘モードでMENUボタンを押す

「◘撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

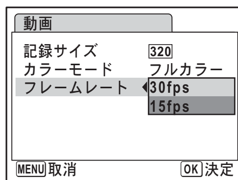
3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「フレームレート」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

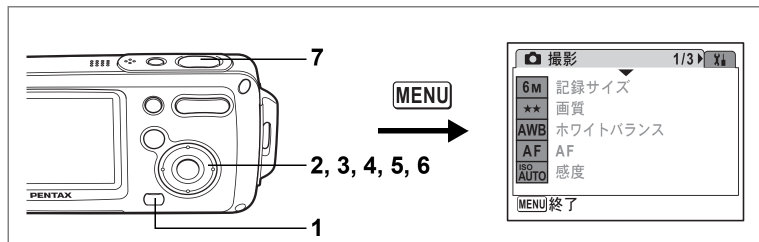


6 十字キー（▲▼）で「30fps」と「15fps」を切り替える

7 シャッターボタンを半押しする

フレームレートの設定が保存され、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズとフレームレート ☞p.33





白黒やセピア色で動画を撮影する（カラーモード）

動画撮影時には、カラーモードとして、フルカラーのほかに白黒とセピアが選べます。

1 ◘モードでMENUボタンを押す

「◘撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

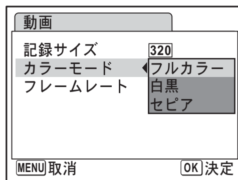
3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「カラーモード」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。



6 十字キー（▲▼）で色を選ぶ

7 シャッターボタンを半押しする

カラーモードの設定が保存され、撮影できる状態になります。

注意　撮影後の動画の「カラーモード」は、変更できません。

再生する

◘モードと▶モードの切り替え

本書では、静止画の撮影など記録を行うモードを「◘モード」と表記します。また、撮影して記録した画像を液晶モニターに表示するなど再生を行うモードを「▶モード」と表記します。▶モードでは、再生した画像に簡単な画像処理を加えることもできます。
◘モードと▶モードの切り替えは、次のように行います。

◘モードから▶モードへ切り替える

1　▶ボタンを押す

▶モードに切り替わります。

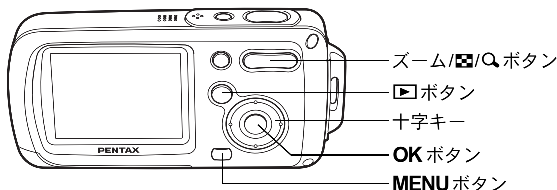
▶モードから◘モードへ切り替える

1　▶ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

◘モードに切り替わります。

静止画を再生する

操作方法は「画像を再生する」（p.42）をご覧ください。

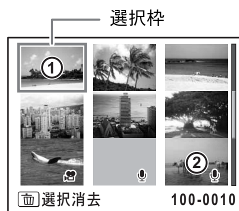


9画面表示、フォルダ表示をする

9画面表示

撮った画像を液晶モニターに同時に9ファイルずつ表示できます。

1 ▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す



画像が9コマで1ページとなるように表示され、ページ単位で表示される画像が変わります。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。10以上の画像が記録されている場合、①の画像を選択しているときに十字キー（▲◀）を押すと前のページが表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▼▶）を押すと次のページが表示されます。

画像の上に表示される記号の意味を示します。

無印	：音声なしの静止画
🎤（画像あり）	：音声付きの静止画
🎥	：動画（1コマ目の画像が表示されます。）
🎤（画像なし）	：音声のみのファイル

ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍かOKボタン、MENUボタンを押すと、選択した画像の1画面表示に切り替わります。
▶ボタンを押すと、📷モードに切り替わります。

フォルダ表示

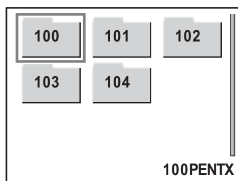
画像や音声が複数のフォルダに分かれて記録されている場合は、下記の手順で目的のフォルダを選ぶことができます。

1　▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

画面が9画面表示に切り替わります。

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

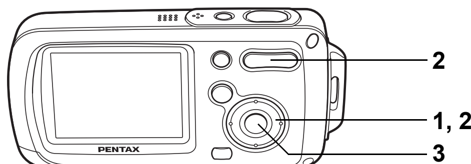
フォルダの一覧が表示されます。



3　十字キー（▲▼◀▶）でフォルダを選ぶ

ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍か**OK**ボタン、**MENU**ボタンを押すと、フォルダ内の画像が9画面表示されます。
続いてズーム/⊞/🔍ボタンの🔍か**OK**ボタン、**MENU**ボタンを押すと、選択した画像の1画面表示に切り替わります。

画像のフォルダ名を変更する ☞p.159



再生画像を拡大する

画像を再生する際、最大8倍まで拡大表示できます。拡大中は、液晶モニターに画像の拡大個所の中心を表示するためのガイドが表示されます。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押す

画面が大きく（1倍～8倍）表示されます。ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押し続けると連続的に大きさが変わります。
画像のどの部分を拡大しているかを画面左下のガイド表示で確認できます。



ガイド表示

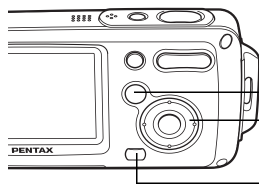
拡大表示中にできる操作

十字キー（▲▼◀▶）	拡大位置を移動する
ズーム/⊞/🔍ボタン（🔍）	画像を拡大する（最大8倍まで）
ズーム/⊞/🔍ボタン（⊞）	画像を縮小する（最小1倍まで）

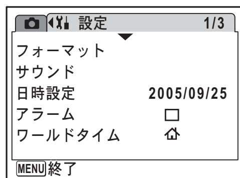
3 OKボタンを押す

1画面表示に戻ります。

注意
- 動画は拡大表示できません。
- 液晶モニターが「情報表示なし」になっている場合は、ガイドは表示されません。







クイック拡大をオン／オフする

クイック拡大をオンにすると、1画面表示時にズーム/▦/🔍ボタンの🔍を1回押すだけで、画像を最大倍率（8倍）まで拡大できます。

1　▶モードでMENUボタンを押す

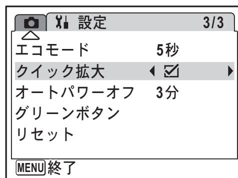
「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▶）を押す

「🔧設定」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「クイック拡大」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える



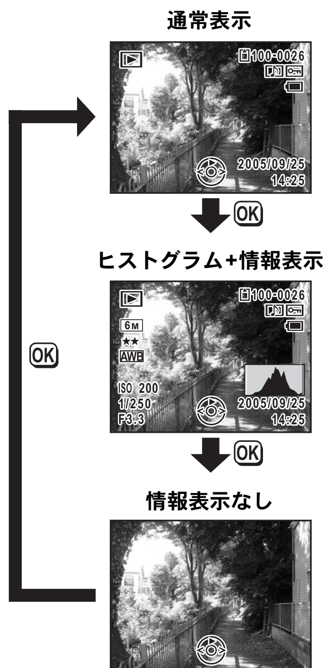
☑　：8倍まで一気に拡大する
□　：ズーム/▦/🔍ボタンの🔍を1回押すと、×1.0～×8.0の範囲で1段階ずつ拡大する

5　▶ボタンを押す

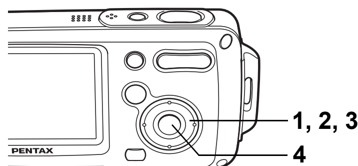
再生できる状態になります。

撮影時の情報を表示する

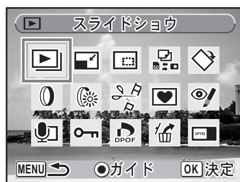
▶モード時に**OK**ボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示が切り替わります。
表示内容の詳細は、p.20をご覧ください。



撮影時に撮影情報を確認する ☞p.79





スライドショウで連続再生する

保存された画像を連続して再生します。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

4　OKボタンを2回押す

スライドショウがスタートします。
スライドショウの途中で**OK**ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に**OK**ボタンを押すと再開します。

5　OKボタン、電源ボタン以外のどれかのボタンを押す

スライドショウが終了します。

スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔、画像切り替え時の画面効果／効果音を設定します。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で▶を選ぶ

3 OKボタンを押す

スライドショウの条件を設定する画面が表示されます。



4 十字キー（▲▼）で「表示間隔」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で表示間隔を切り替え、OKボタンを押す

3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

7 手順4〜6を繰り返して「画面効果」を選択する

オフ、ワイプ、チェッカー、フェードから選択できます。

オフ	切り替え効果なし
ワイプ	左から右へ画面が流れる効果
チェッカー	小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がってくる効果

8 十字キー（▲▼）で「効果音」を選ぶ

9 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

画面効果が「オフ」以外のとき、画面が切り替わるときに流れる音のオン（☑）／オフ（□）を切り替えることができます。

10 OKボタンを押す

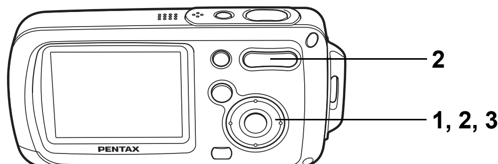
設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。



- スライドショウは、OKボタン、電源ボタン以外のどれかのボタンを押して終了するまで何度でも繰り返します。
- 動画や音声付き画像は、設定した表示間隔の設定にかかわらず、すべて再生されてから次の画像に移ります。
- 動画の再生中に十字キー（▶）を押すと、次の画像へ移ります。
- ボイスレコーディングモードで録音した音声は、スライドショウでは再生されません。

AV機器と接続する ☞p.113

動画を再生する



動画を再生する

動画を再生します。動画再生時には、音声も同時に再生されます。



1　▶ モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

再生中にできる操作

十字キー（◀）	逆方向に再生
十字キー（▲）	一時停止
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

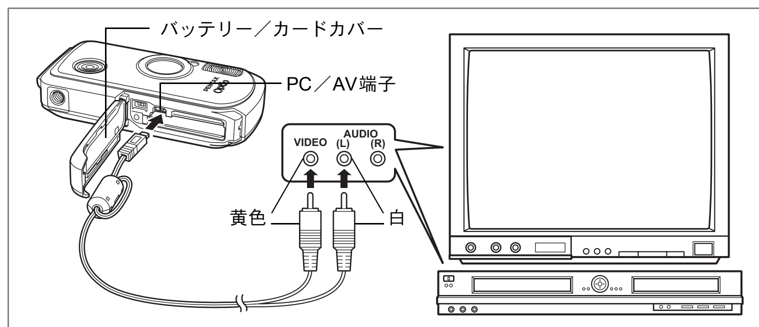
一時停止中にできる操作

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除（再生）

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止し、1画面表示に戻ります。

AV機器と接続する



AVケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1 バッテリー／カードカバーを開き、PC／AV端子にAVケーブルを接続する

2 AVケーブルのもう一方の端子（映像：黄色、音声：白）を、AV機器の映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3 AV機器の電源をオンにする

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。

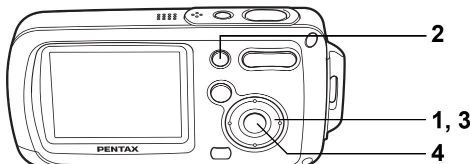
複数の映像入力端子があるAV機器（テレビなど）で画像を見る場合は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続している映像入力端子を選択してください。

4 カメラの電源をオンにする



- 長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC8J（別売）の使用をおすすめします。
- 国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。（p.161）
- AV機器に接続している間は、カメラの液晶モニターはオフになります。
- AV 機器に接続している間は、カメラのズームボタンを使っての音量調整はできません。

消去する



失敗したり、不要になった画像や音声を消去します。

うっかり！必要な画像や音声を消してしまったら・・・
OptioWPiには、このカメラで撮影した画像、または録音した音声であれば、復活させる機能があります。(p.119)
ただし、画像や音声を消去した後、撮影、画像プロテクト、ＤＰＯＦ設定、リサイズ、トリミングなどのデータ書き込み操作をしたり、電源をオフにしたりすると、消去した画像や音声は復活できません。

1画像／音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

注意　プロテクトされている画像や音声は消去できません。(p.120)

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像／音声を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

消去されます。





クイックビューが表示されている間に🗑ボタンを押すと手順2の画面が表示され、撮影したばかりの画像を消去できます。(p.43)

消去した画像を復活する ☞p.119

5 画像の再生と消去

音声を消去する

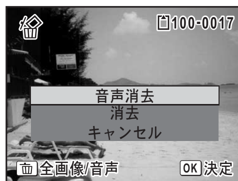
音声付きの画像（p.147）の場合は、画像は消去せずに音声のみを消去することができます。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で音声付きの画像を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「音声消去」を選ぶ

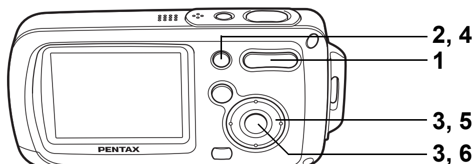


4　OKボタンを押す

音声が消去されます。



画像と音声の両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。



選択して消去する（9画面表示で消去）

9画面表示で複数の画像や音声を選択し、一括して削除します。

注意 プロテクトされている画像や音声は消去できません。

1　▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

画像が9コマずつ表示されます。



2　🗑ボタンを押す

画像や音声に□が表示されます。

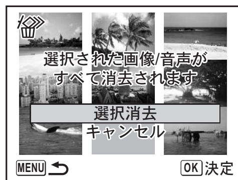
3　十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像または音声に移動し、OKボタンを押す



画像が選択され、☑が表示されます。
ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示されますので、削除したい画像かどうかを確認できます（離すと9画面表示に戻ります）。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

4　🗑ボタンを押す

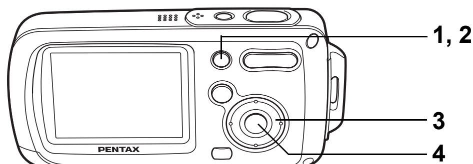
消去を確認する画面が表示されます。



5　十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

6　OKボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。



まとめて消去する

保存されているすべての画像や音声を消去します。



プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.120）

1　▶モードで 🗑 ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

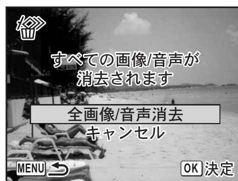
2　🗑 ボタンを押す

すべての画像や音声の消去を確認する画面が表示されます。

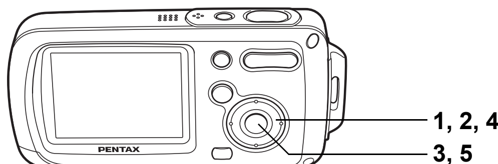
3　十字キー（▲）で「全画像/音声消去」を選ぶ

4　OK ボタンを押す

すべての画像や音声が消去されます。



消去した画像を復活する ☞p.119



消去した画像を復活する

このカメラで撮影した画像、または録音した音声であれば、いったん消去してしまっても元に戻すことができます。

注意

画像を消去後、撮影、画像プロテクト、DPOF設定、リサイズ、トリミングなどのデータ書き込み操作をしたり、電源をオフにしたりすると、手順3で「処理できる画像がありません」のメッセージが表示され、消去した画像や音声の復活ができなくなってしまいます。

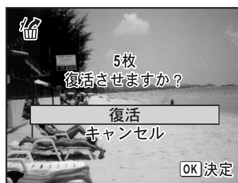
1　消去を実行した後に、十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（削除画像復活）を選ぶ

3　OKボタンを押す

復活可能な画像の枚数が表示されます。



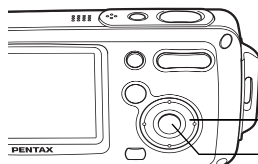
4　十字キー（▲▼）で「復活」を選ぶ

5　OKボタンを押す

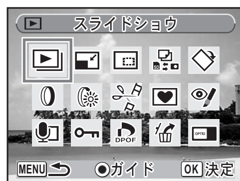
画像の消去が取り消され、元に戻ります。



復活させた画像や音声は、消去する前と同じファイル名になります。







消去できないようにする（プロテクト）

記録した画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でО┳（プロテクト）を選ぶ

3　OKボタンを押す

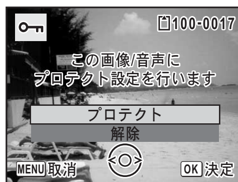
プロテクト対象を選択する画面が表示されます。



4　十字キー（▲▼）で「1画像/音声」を選ぶ

5　OKボタンを押す

プロテクトする画像または音声を選択する画面が表示されます。



6　十字キー（◀▶）でプロテクトする画像や音声を選ぶ

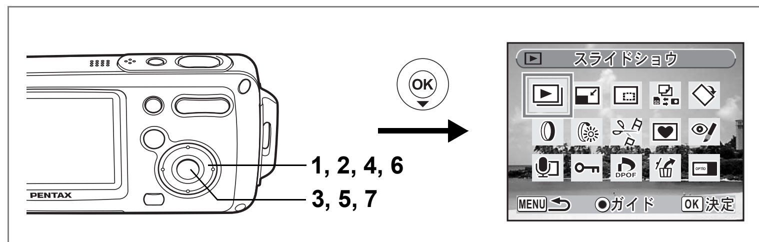
7　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

8　OKボタンを押す

選択した画像または音声がプロテクトされます。



- プロテクトを解除するには、手順7で「解除」を選びます。
- プロテクトされている画像や音声には、再生時にファイル番号の下にО┳が表示されます。



すべての画像と音声をプロテクトするには

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でO‑ㅠ（プロテクト）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

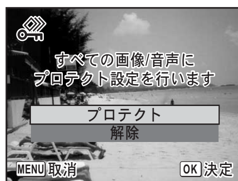
プロテクト対象を選択する画面が表示されます。



4　十字キー（▲▼）で「全画像 / 音声」を選ぶ

5　OK ボタンを押す

プロテクトを確認する画面が表示されます。



6　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

7　OK ボタンを押す

すべての画像と音声がプロテクトされます。

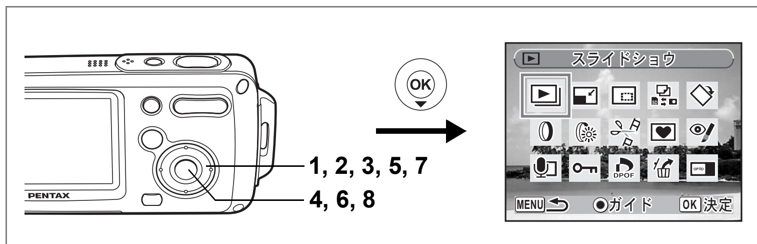


SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされている画像や音声も消去されます。



手順6で「解除」を選ぶと、すべての画像と音声のプロテクト設定が解除されます。

編集する



画像のサイズと画質を変更する（リサイズ）

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、元の画像よりもファイルサイズを小さくすることができます。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影できます。



- 動画はリサイズできません。
- 元の画像よりも大きいサイズ、きれいな画質は選択できません。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（リサイズ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

記録サイズと画質を選択する画面が表示されます。



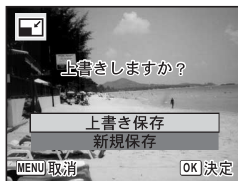
5　「記録サイズ」と「画質」を選択する

それぞれ、十字キー（◀▶）で選択します。「記録サイズ」と「画質」の切り替えは、十字キー（▲▼）で行います。

6 OKボタンを押す

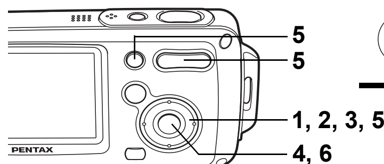
上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

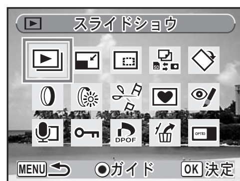
7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ



8 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。





画像をトリミングする

画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

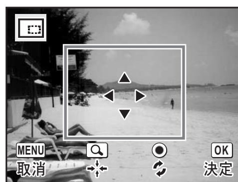
2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で⬚（トリミング）を選ぶ

4　OKボタンを押す

トリミングを行う画面が表示されます。



5　トリミング条件を選ぶ

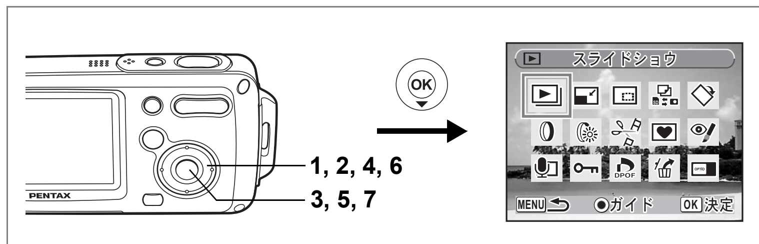
ズーム/▦/🔍ボタン	トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を移動する
グリーンボタン	トリミング範囲を回転する

6　OKボタンを押す

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。
トリミング後の画像は、元の画像と同じ画質で保存されます。記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設定されます。



動画はトリミングできません。



画像や音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。カメラにSDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。

注意　SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（画像/音声コピー）を選ぶ

3　OKボタンを押す

コピー方法を選択する画面が表示されます。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像と音声をSDメモリーカードにまとめてコピーします。画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な容量があることを確認しておいてください。

4　十字キー（▲▼）を押して「●➡SD」を選ぶ

5　OKボタンを押す

すべての画像と音声がコピーされます。



SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

SDメモリーカード内の画像や音声を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。



4　十字キー（▲▼）を押して「SD➡●」を選ぶ

5　OKボタンを押す

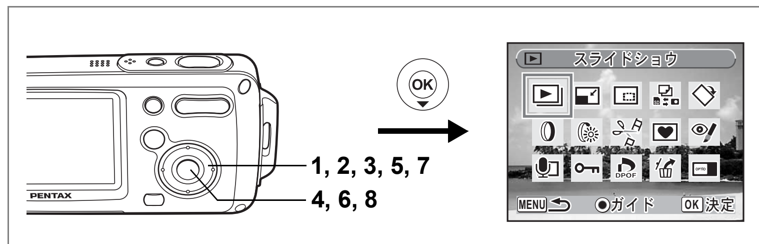
6　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

7　OKボタンを押す

選択した画像／音声がコピーされます。



- 音声付きの画像は、音声付きのままコピーされます。
- SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、新しいファイル名で画像がコピーされます。



デジタルフィルタを使う

選択した画像に対して、色調などを変えるデジタルフィルタ処理を行います。
デジタルフィルタには、白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄、SOFTの9種類のフィルタがあります。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で◐（デジタルフィルタ）を選ぶ

4 OKボタンを押す

デジタルフィルタを選択する画面が表示されます。

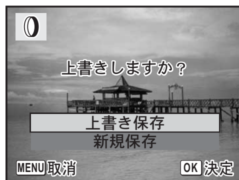


5 十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルタを選ぶ

フィルタに応じた加工結果をプレビューできます。

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。



7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

8 OKボタンを押す

デジタルフィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

明るさフィルタを使う

選択した画像の明るさを調整します。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（明るさフィルタ）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

明るさを調整する画面が表示されます。



5　十字キー（◀▶）で明るさを調整する

調整結果をプレビューできます。

6　OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

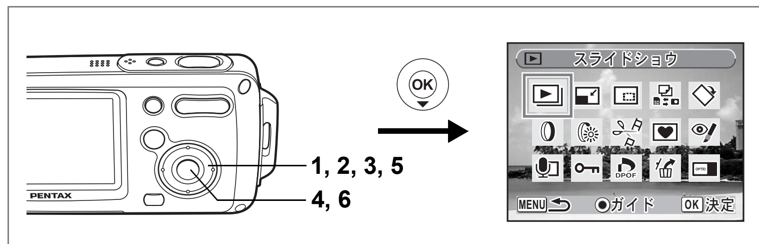
画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

8　OK ボタンを押す

明るさフィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

注意

動画や他のカメラで撮影した画像は「デジタルフィルタ」や「明るさフィルタ」を使って加工できません。再生モードパレットで機能を選択して**OK** ボタンを押すと、エラーメッセージが表示されます。



赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で赤目補正する画像を選ぶ

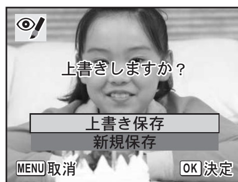
2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（赤目補正）を選ぶ

4　OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。



5　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

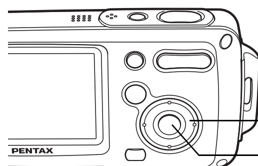
画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

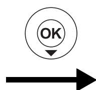
6　OKボタンを押す

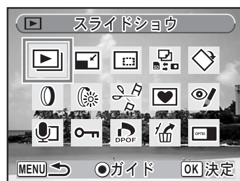
赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

注意

- 動画やカメラ側で赤目画像と特定できなかった画像は「赤目補正」できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。







フレーム合成をする

撮影した静止画に、フレーム（飾り枠）を合成します。あらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でフレーム合成する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

フレームを合成する画面が表示されます。



5　十字キー（◀▶）で合成するフレームを選ぶ

6　OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。



7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

8　OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3Mの記録サイズで保存されます。

注意　動画や2M以下のサイズの画像は「フレーム合成」をできません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

新しく入手したフレームを登録する

手順5でグリーンボタンを押すと、フレーム登録画面に切り替わり、ホームページなどから入手したフレームを使用できます。内蔵メモリー内の3つのフレームと置き換えて使用できます。新しく入手したフレームを使用するには、あらかじめSDメモリーカードにコピーしておきます。

注意　SDメモリーカード内のフレームを登録すると、内蔵メモリーに登録されているフレームと置き換わり、内蔵メモリー内のフレームは削除されます。

1　フレームを選択する画面で、置き換えたいフレームを選び、グリーンボタンを押す

メッセージが表示された後、SDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

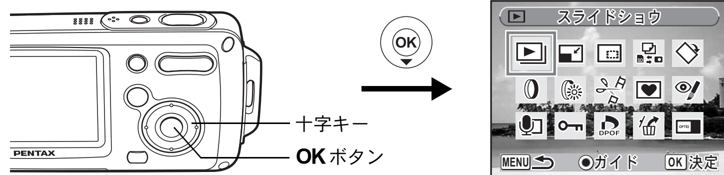
2　十字キー（◀▶）で登録するフレームを選び、OKボタンを押す

表示されているフレームの代わりに、選択したフレームが登録されます。

新しいフレームは、弊社ホームページの下記ＵＲＬアドレスからダウンロードできます。

http://www.pentax.co.jp/japan/support/download/digital/frame_01.html

動画編集メニュー画面の呼び出しかた



動画を編集する

撮影した動画中のひとコマを切り出して静止画として保存したり、動画を分割、結合したりすることができます。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する動画を選ぶ

「動画結合」(p.135) をする場合は、前半部分となる動画を選択します。

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

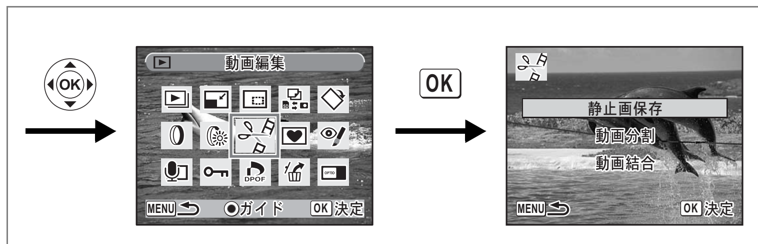
3　十字キー（▲▼◀▶）で✂（動画編集）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

動画編集方法を選択する画面が表示されます。
続けて以下のページに進んでください。

- 「動画の1コマを静止画として保存する」（p.133）
- 「動画を分割する」（p.134）
- 「動画を結合する」（p.135）

注意　プロテクトされている動画は「動画分割」、「動画結合」をすることができません。



動画の1コマを静止画として保存する

5　十字キー（▲▼）を押して「静止画保存」を選ぶ

6　OK ボタンを押す

静止画として保存するコマを選択する画面が表示されます。

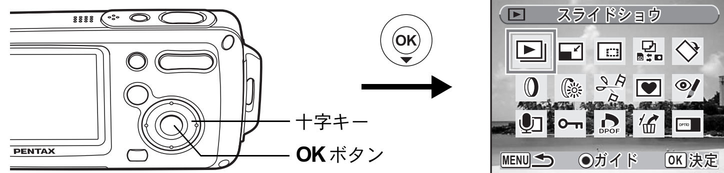


7　十字キー（◀▶）を押して保存するコマを選ぶ

8　OK ボタンを押す

選択したコマが静止画として保存されます。

動画編集メニュー画面の呼び出しかた



動画を分割する

5　動画編集メニュー画面で「動画分割」を選ぶ

6　OK ボタンを押す

分割位置を選択する画面が表示されます。



7　十字キー（▲▼◀▶）を押して分割位置を決める

▲　：再生する、一時停止する
▼　：停止する
◀　：コマ戻しする
▶　：コマ送りする

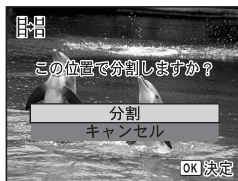
8　OK ボタンを押す

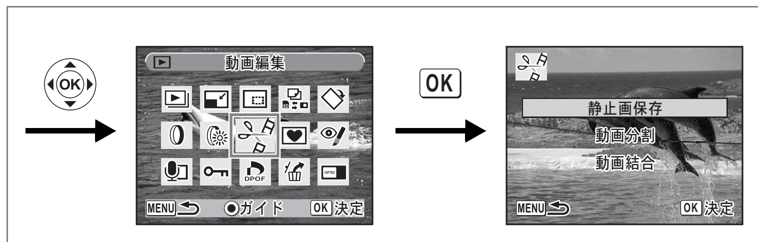
分割位置を確認する画面が表示されます。

9　十字キー（▲▼）で「分割」を選ぶ

10　OK ボタンを押す

指定位置で分割した動画がそれぞれ新しいファイルに保存されます。





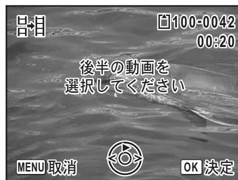
動画を結合する

5　動画編集メニュー画面で「動画結合」を選ぶ

6　OKボタンを押す

結合する動画を選択する画面が表示されます。

7　十字キー（◀▶）で後半部分となる動画を選ぶ



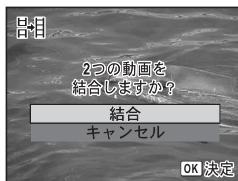
8　OKボタンを押す

結合を確認する画面が表示されます。

9　十字キー（▲▼）で「結合」を選ぶ

10　OKボタンを押す

選択した2つの動画が結合され、前半部の動画ファイルに上書き保存されます。

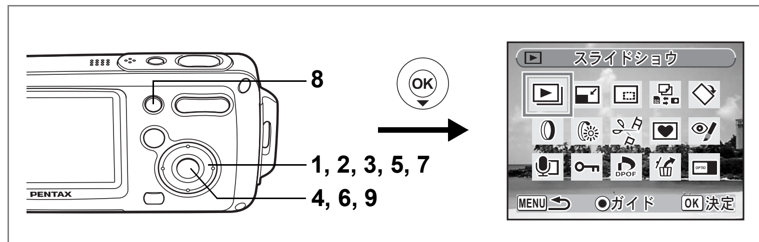


注意

- 結合した動画を再生すると、結合部分が1秒ほど止まって見えることがあります。「動画編集」機能では動画データを1秒単位で操作するため、前半部分の最後のコマが1秒に満たない場合は1秒分に引き伸ばされて後半部分の動画と結合されるためです。
- 2つの動画を結合すると、後半部の動画ファイルは消去されます。

DPOFの設定をする

DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した静止画像に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止画にDPOF設定をすると、DPOF対応プリンターやプリントサービス店でDPOF設定にしたがったプリントが行えます。
動画や音声のみのファイルには、DPOF 設定をすることはできません。



1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

枚数	プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付	プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　▶モードで十字キー（◀▶）を押して画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で DPOF（DPOF）を選ぶ

4　OKボタンを押す

DPOF 対象を選択する画面が表示されます。



5　十字キー（▲▼）で「1画像」を選ぶ

6 OKボタンを押す



選択した1画像に対してDPOF設定をする画面が表示されます。
すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付の☑（オン）／□（オフ）が表示されます。

7 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

8 グリーンボタンを押し、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する



☑ ：プリントに日付を入れる
□ ：プリントに日付を入れない
その他の画像にもDPOF設定をしたい場合は、十字キー（◀▶）で画像を選び、手順7、8を繰り返します。

9 OKボタンを押す

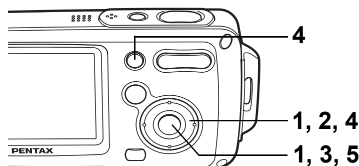
DPOF設定が保存され、DPOF設定メニュー画面に戻ります。



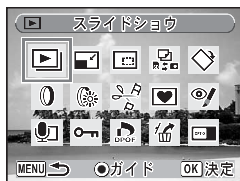
プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で「日付」をオンにしても日付がプリントされないことがあります。

メモ

DPOF設定を解除するには、手順7で枚数を「00」に設定して、**OK**ボタンを押します。







全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ「枚数」「日付」の設定が適用されます。

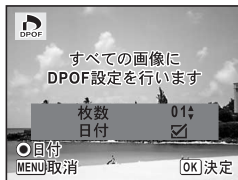
1　▶モードでDPOFの設定をする画面を表示する

p.136の手順2～4をご覧ください。

2　十字キー（▲▼）で「全画像」を選ぶ

3　OKボタンを押す

すべての画像のDPOF設定をする画面が表示されます。



4　プリント枚数、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の手順7、8（p.137）をご覧ください。

5　OKボタンを押す

設定した値で全画像のDPOF設定が保存され、DPOFの設定をする画面に戻ります。

注意　全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。



全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

カメラとプリンターをつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB7）でカメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくてもカメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数などは、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

注意
- カメラをプリンターに接続するときは、ACアダプターキットK-AC8Jのご使用をおすすめします。プリンターと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- プリンターの種類によっては、カメラ側の設定（印刷設定、DPOF設定など）が一部反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が500枚以上になる場合、正しくプリントされないことがあります。
- 1枚の用紙に複数画像をプリントする設定はカメラではできません。プリンター側で設定してください。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。

カメラをプリンターに接続する

1 「設定」メニューの「USB接続」を「PictBridge」に設定する

「USB接続モードを変更する」（p.160）をご覧ください。

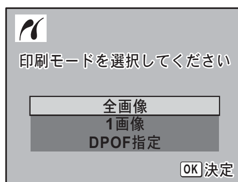
2 カメラの電源をオフにする

3 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続する

4 プリンターの電源をオンにする

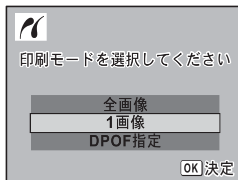
5 プリンターの起動が完了したら、カメラの電源をオンにする

印刷モードを選択する画面が表示されます。



1画像ずつプリントする

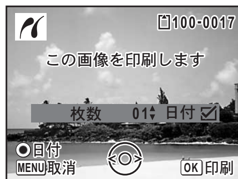
1　印刷モードを選択する画面で十字キー(▲▼)を押して、「1画像」を選ぶ



2　OKボタンを押す

印刷条件を設定する画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ



4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定できます。

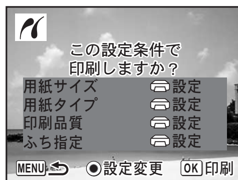
5　グリーンボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑　：プリントに日付を入れる

□　：プリントに日付を入れない

6　OKボタンを押す

印刷設定を確認する画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、**OK**ボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

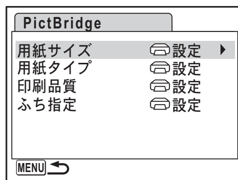


7　グリーンボタンを押す

印刷設定の変更画面が表示されます。

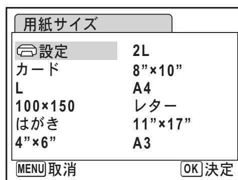
8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

用紙サイズの選択画面が表示されます。



6
画像の編集と印刷

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ



お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

10 OK ボタンを押す

11 手順8〜10の操作を繰り返して、「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」を設定する

設定を選択するとプリンター側の設定にしたがいます。
用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。
印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。
各項目の設定が終了するごとに、印刷設定を確認する画面が表示されます。

12 OK ボタンを2回押す

設定した値で印刷が開始されます。
MENU ボタンを押すと、印刷を中止します。

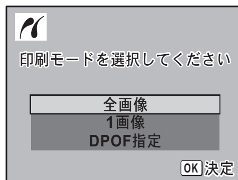


- プリンターと通信中は電源ランプが点灯、カードアクセス中、プリント中は電源ランプが点滅してお知らせします。電源ランプ点滅中は、USBケーブルを取り外さないでください。
- 「用紙サイズ」「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」の設定は、カメラの電源を切ると、ご購入時の状態に戻ります。

プリンターからケーブルを取り外す ☞p.143

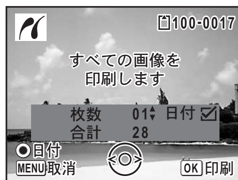
全画像をプリントする

1 印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「全画像」を選ぶ



2 OKボタンを押す

印刷する条件を設定する画面が表示されます。



3 プリント枚数、日付プリントの有無を設定する

全画像を何枚ずつプリントするか、日付をプリントするかどうかを選びます。
設定のしかたは「1画像ずつプリントする」の手順4、5（p.140）をご覧ください。

4 OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.140～p.141）をご覧ください。

5 印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した条件で全画像のプリントが開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

DPOFの設定でプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「DPOF指定」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF設定の内容が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像ごとの印刷枚数、日付の有無、プリント合計枚数を確認できます。DPOF設定については、p.136をご覧ください。



3　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.140～p.141）をご覧ください。

4　印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した内容でプリントされます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

プリンターからケーブルを取り外す

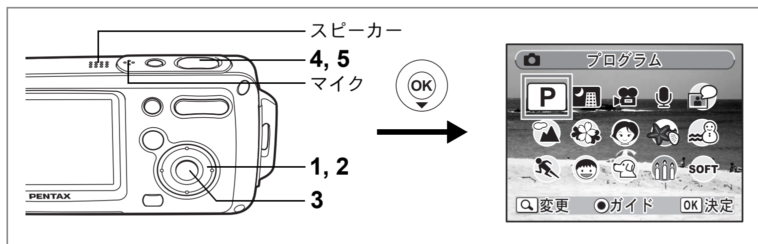
プリントが終了したら、USBケーブルをカメラとプリンターから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

2　カメラとプリンターからUSBケーブルを取り外す

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。マイクはカメラ上部にありますので、音声を記録する際は最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

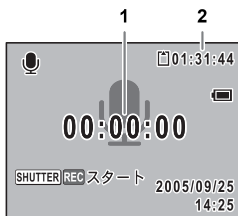


1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（ボイスレコーディング）を選ぶ

3 OK ボタンを押す



液晶モニターに録音可能な時間と、これから録音するファイルの録音時間が表示されます。

1 録音時間

2 残り録音可能時間

4 シャッターボタンを全押しする



録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプが点滅します。

録音中にグリーンボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。

5 シャッターボタンを全押しする

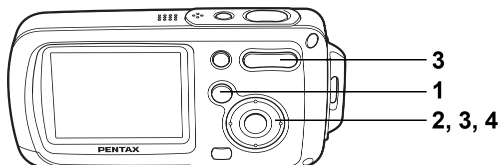
録音を停止します。



- 手順4でそのままシャッターボタンを押し続けると、シャッターボタンから指を離したときに録音を停止します。「サウンド」設定のUSER音を作成する場合など、短い音を録音したいときに便利です。
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- **OK** ボタンを押すと、液晶モニターの表示を消すことができます。もう一度**OK** ボタンを押すと、再表示します。

音声を再生する

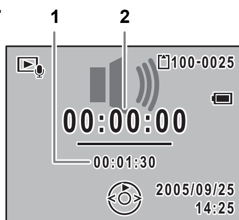
🎙モードで録音した音声を再生します。



1 ▶ボタンを押す

2 十字キー（◀▶）で再生したい音声ファイルを選ぶ

3 十字キー（▲）を押す



録音を再生します。

1 ファイルの総録音時間
2 再生済時間

再生中にできる操作

十字キー（▲）	再生を一時停止
ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする
インデックスがない場合	
十字キー（◀）	巻き戻し
十字キー（▶）	早送り
インデックスがある場合	
十字キー（◀）	前のインデックス位置から再生
十字キー（▶）	次のインデックス位置から再生

一時停止中にできる操作

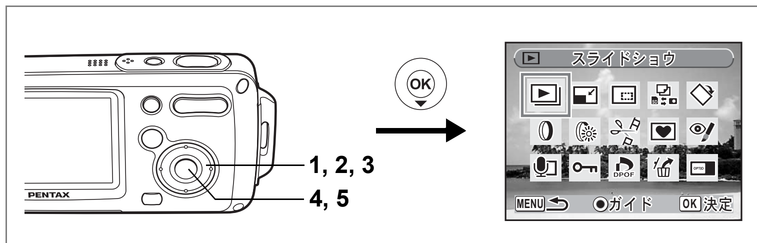
十字キー（▲）	再生を再開
十字キー（◀）	約5秒前に戻る
十字キー（▶）	約5秒先に送る

4 十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

画像に音声を付ける（ボイスメモ）

撮影した静止画像に音声（ボイスメモ）を付けることができます。



ボイスメモを録音する

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。



3　十字キー（▲▼◀▶）で🎙（ボイスメモ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

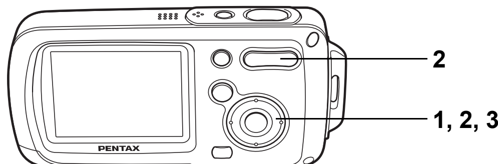
ボイスメモの録音を開始します。ボイスメモはSDメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量いっぱいまで録音できます。

5　OKボタンを押す

ボイスメモの録音が終了します。



- すでにボイスメモが録音されている画像やピクチャーボイスモードで撮影された画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったん音声を消去してから、もう一度録音してください。（p.115）
- プロテクト（O-n）されている画像（p.120）にボイスメモを付けることはできません。



ボイスメモを再生する



1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ

ボイスメモが録音されている画像は、1画面表示時に♪が表示されます。

2　十字キー（▲）を押す

録音されたボイスメモが再生されます。

再生中にできる操作

ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠）　音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠♠♠）　音量を小さくする

3　十字キー（▼）を押す

ボイスメモの再生を停止します。

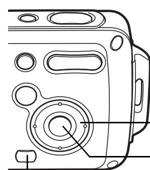


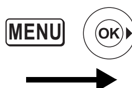
ピクチャーボイスモードで撮影した画像の音声も、同様の操作で再生できます。

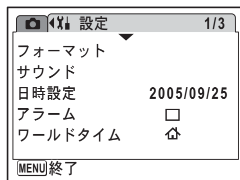
音声を消去する ☞p.115

カメラの設定をする

「設定」メニューの呼び出しかた







SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

注意

- SD メモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で記録したデータも消去されます。ご注意ください。
- パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。

1　「設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

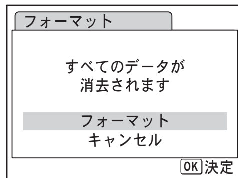
2　十字キー（▶）を押す

「フォーマット」画面が表示されます。

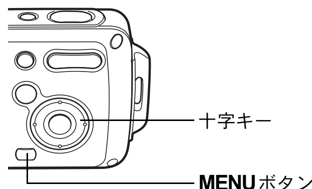
3　十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

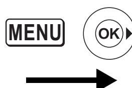
4　OK ボタンを押す

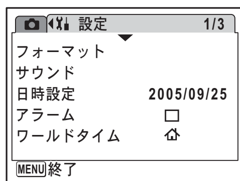
フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。



「🔧設定」メニューの呼び出しかた







日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

1 「🔧設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

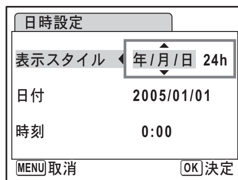
「日時設定」画面が表示されます。



3 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

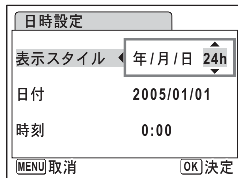
4 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する



5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

6 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する



7　十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

8　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

日時設定

表示スタイル	年/月/日　24h
日付	▸2005/01/01
時刻	0:00

MENU 取消　　OK 決定

9　十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

10　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

日時設定

表示スタイル	年/月/日　24h
日付	◂ 2005/01/01
時刻	0:00

MENU 取消　　OK 決定

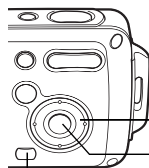
11　OK ボタンを押す

日時の設定が保存されます。



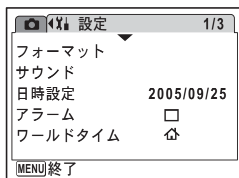
- 日時の設定終了後、**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた









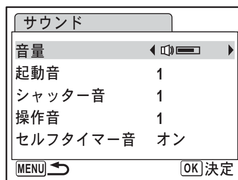
サウンドの設定を変更する

各種操作音の音量、それぞれの音の種類を変更できます。

1　「🔧設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

「サウンド」画面が表示されます。



操作音量を変更する

3　十字キー（▲▼）を押して「音量」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）を押して音量を調節する

音量を0にすると起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音は鳴りません。

音の種類を変更する

5　十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

6　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「1」「2」「3」「オフ」「USER」のいずれかを選び、十字キー（◀）を押す

8 手順5～7を繰り返して「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を設定する

セルフタイマー音は「オン」「オフ」「USER」から選びます。

9 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

USER音を設定する

任意の音声の冒頭の2秒間をUSER音として起動音やシャッター音に使用できます。使用する音声はカメラで録音しておきます。（p.144）

1 前項の手順7、8で「USER」を選ぶ

2 OK ボタンを押す

カメラに「USER」音として設定できる音声が記録されている場合、再生画面が表示されます。USER設定されている音声には「USER」と表示されます。



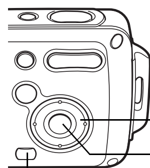
3 十字キー（◀▶）でファイルを選ぶ

十字キー（▲）　冒頭の2秒間を再生
十字キー（▼）　再生終了

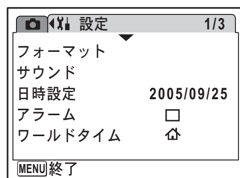
4 OK ボタンを押す

選んだ音声が、起動音やシャッター音の「USER」音として設定されます。

「Ｘ設定」メニューの呼び出しかた







決まった時刻にアラームを鳴らす

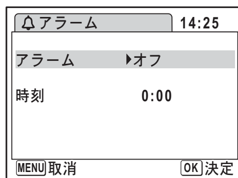
指定した時刻にアラームを鳴らします。
毎日同じ時刻にアラームを鳴らすか、設定した時刻に1回アラームを鳴らすかを選ぶことができます。

アラームを設定する

1 「Ｘ設定」メニューの「アラーム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「アラーム」画面が表示されます。



3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「オフ」「1回」「毎日」のいずれかを選び、十字キー（◀）を押す

5 十字キー（▼）を押す

続いて「時刻」を設定します。

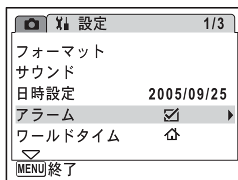
6 十字キー（▶）を押す

選択枠が「時間」に移動します。

7 十字キー（▲▼）で時間を設定し、十字キー（▶）を押す

選択枠が「分」に移動します。
同様に「分」を設定します。

8 OKボタンを押す



画面が「設定」メニューに戻ります。
「アラーム」が☑（オン）になっていることを確認します。

9 OKボタンを押す

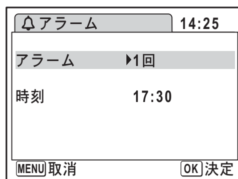
「アラームを設定しました」と表示された後電源がオフになります。

アラームを確認する

1 「設定」メニューの「アラーム」を選ぶ

「アラーム」が☑（オン）になっていることを確認します。

2 十字キー（▶）を押す



「アラーム」画面が表示されます。
アラームの頻度と設定時刻を確認します。

3 MENUボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

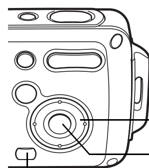
アラームを止める



電源オフの状態で指定した時刻になると、スタイルウォッチ画面が表示され、アラームが1分間鳴ります。
1分間経過するか、鳴っている間にどれかのボタンを押すと、アラームは停止します。

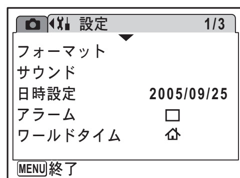
注意　カメラの電源がオンになっている場合は、指定した時刻になってもアラームは鳴りません。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた









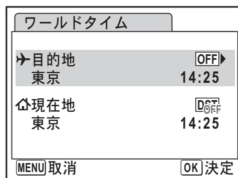
ワールドタイムを設定する

「日時を設定する」（p.38）で設定した日時は、⌂（現在地）の日時として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニターに✈（目的地）として設定した国や地域の日時を表示できます。
ここでは目的地の設定方法を説明します。

1 「🔧設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

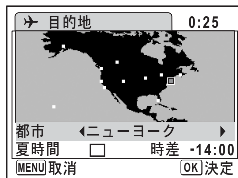


3 十字キー（▲▼）で✈（目的地）／⌂（現在地）を切り替える

✈ ：目的地で選択した都市の時刻を表示
⌂ ：現在地で選択した都市の時刻を表示

4 十字キー（▶）を押す

「目的地」画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示されます。



5 十字キー（◀▶）で、目的地都市名を選ぶ

選択した都市の現在時刻、位置、時差が表示されます。

6 十字キー（▼）で「夏時間」を選択する

8 設定

7 十字キー（◀▶）で、☑（オン）／□（オフ）を切り替える

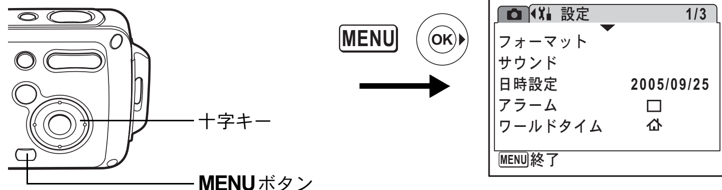
目的地が夏時間を採用している場合は、☑（オン）にします。

8 OK ボタンを2回押す

ワールドタイムの設定が保存されます。



手順3で⌂を選ぶと現在地の都市や夏時間を設定できます。



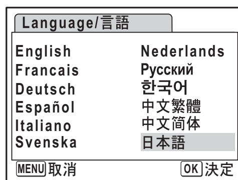
表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／イタリア語／スウェーデン語／オランダ語／ロシア語／韓国語／中国語（繁体字/簡体字）／日本語の11言語に対応しています。

1 「設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。



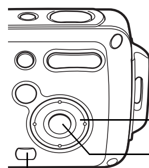
3 十字キー（▲▼◀▶）で表示させたい言語を選ぶ

4 OKボタンを押す

選んだ言語で表示するように設定されます。

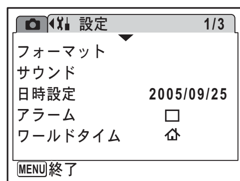
8
設定

「設定」メニューの呼び出しかた









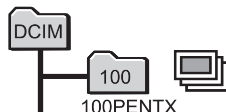
画像のフォルダ名を変更する

画像のフォルダ名を、標準から日付に変更できます。日付に設定すると写真は撮影日ごとに違うフォルダに保存されます。

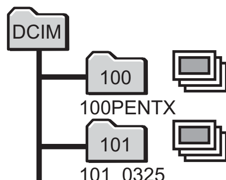
フォルダ名

標準	XXXPENTX（XXXは3桁のフォルダ番号）
日付	XXX_mmdd（3桁のフォルダ番号_月日）

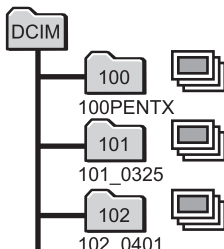
標準で撮影
（例：3/25）



「フォルダ名」を日付に変更
（例：3/25）



次回に撮影
（例：4/1）



1　「設定」メニューの「フォルダ名」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

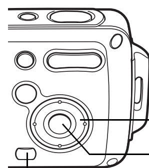
3　十字キー（▲▼）で「標準」「日付」を切り替える

4　OKボタンを押す

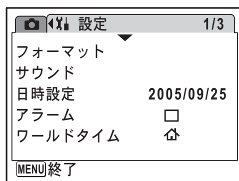
フォルダ名の設定が保存されます。

8 設定

「設定」メニューの呼び出しかた







USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先（パソコンまたはPictBridge対応プリンター）に応じてUSB接続モードを切り替えます。



パソコンとの接続については、別紙の『PC接続ガイド』をご覧ください。

1 「設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

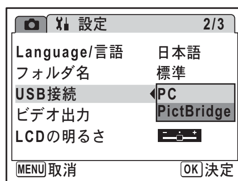
2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「PC」「PictBridge」を切り替える

「PC」　：パソコンに画像を転送する場合に選択

「PictBridge」：PictBridge対応のプリンターに接続する場合に選択



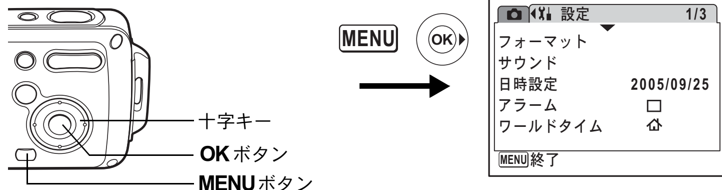
4 OK ボタンを押す

USBモードの設定が保存されます。

注意

「USB 接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。また、「PC」に設定したままカメラをプリンターに接続しないでください。

「⚒設定」メニューの呼び出しかた



ビデオ出力方式を選択する

AV機器と接続して撮影や再生をするときのビデオ出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

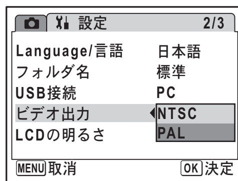
1 「⚒設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「NTSC」「PAL」を切り替える

接続するAV機器のビデオ出力方式に合わせて選択します。



4 OKボタンを押す

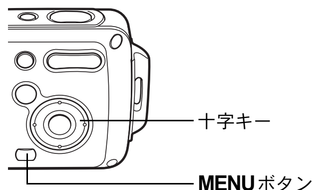
ビデオ出力方式の設定が保存されます。

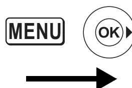


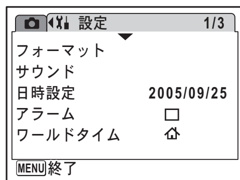
国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。

AV機器と接続する ☞p.113

「設定」メニューの呼び出しかた







液晶モニターの明るさを設定する

液晶モニターの明るさを設定できます。

1 「設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で明るさを調整する

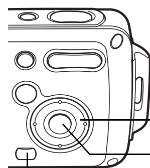
バーのスライダーが左（「–」方向）に移動すると暗くなり、右（「+」方向）に移動すると明るくなります。



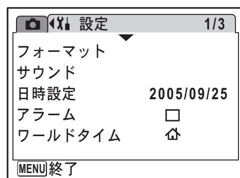
3 MENUボタンを押す

LCDの明るさの設定が保存されます。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた







節電機能を使う（エコモード）

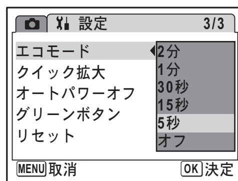
一定時間操作しないときに、液晶モニターの明るさが自動的に暗くなるように設定することで、バッテリーの消耗を軽減します。節電機能が働き、液晶モニターが暗くなった場合は、何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。

1 「🔧設定」メニューの「エコモード」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」のいずかを選ぶ



4 OKボタンを押す

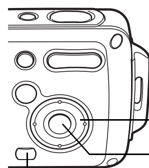
エコモードの設定が保存されます。



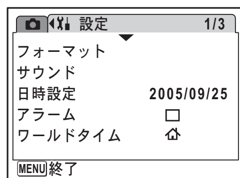
以下の場合は、エコモードにはなりません。

- 再生モード中
- パソコン／プリンター接続中
- ACアダプター使用時
- 動画撮影中

「設定」メニューの呼び出しかた







オートパワーオフを設定する

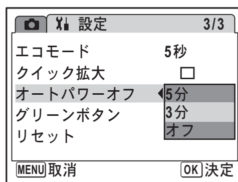
一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「5分」「3分」「オフ」を切り替える



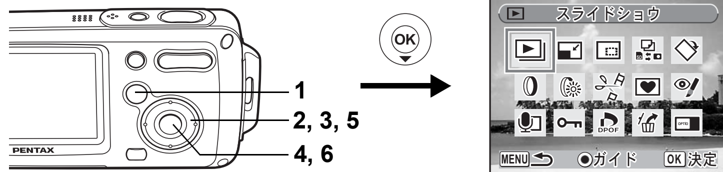
4 OK ボタンを押す

オートパワーオフの設定が保存されます。



以下の場合は、オートパワーオフ機能が作動しません。
- スライドショウ／動画再生中
- パソコン／プリンター接続中

再生モードパレットの呼び出しかた



起動画面を変更する

カメラの電源をオンにしたときに起動画面として表示させる画像を設定します。

1　▶ボタンを押す

▶モードに入ります。

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で OPTIO（起動画面設定）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

起動画面を選択するための画面が表示されます。



5　十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

6　OK ボタンを押す

起動画面の設定が保存されます。

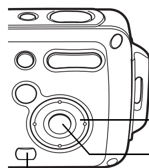


- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。
- 「オフ」を選ぶと起動画面が表示されなくなります。

8

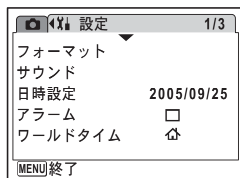
設定

「設定」メニューの呼び出しかた









設定をリセットする

カメラの設定内容をご購入時の状態に戻します。リセット項目については「初期設定一覧」（p.169）をご覧ください。

1 「設定」メニューの「リセット」を選ぶ

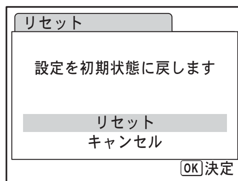
2 十字キー（▶）を押す

「リセット」画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

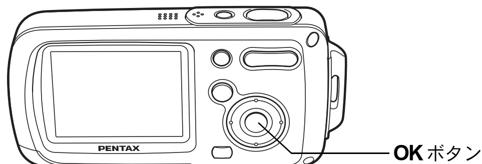
設定がリセットされます。



メモ

以下の設定はリセット前のまま保存されます。
日時設定、Language/言語、ワールドタイム、ビデオ出力、モードパレットの配置

スタイルウォッチを使う



カメラを時計のように使うことができます。電源がオフのときに**OK**ボタンを長押しすると、液晶モニターに時計を表示します。

1 OK ボタンを長押しする



電源がオンになり、画面に時計が表示されます。
約10秒経過すると、自動的に電源がオフになります。
また、電源ボタンを押すと、すぐに電源がオフになります。

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市名です。

地域	都市名
北米	ホノルル
	アンカレジ
	バンクーバー
	サンフランシスコ
	ロサンゼルス
	カルガリー
	デンバー
	シカゴ
	マイアミ
	トロント
	ニューヨーク
	ハリファックス
中南米	メキシコシティ
	リマ
	サンティアゴ
	カラカス
	ブエノスアイレス
	サンパウロ
	リオデジャネイロ
ヨーロッパ	マドリード
	ロンドン
	パリ
	アムステルダム
	ミラノ
	ローマ
	ベルリン
	ストックホルム
	アテネ
	ヘルシンキ
	モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール
	アルジェ
	ヨハネスブルグ
	イスタンブール
	カイロ

地域	都市名
アフリカ・西アジア	エルサレム
	ナイロビ
	ジッダ
	テヘラン
	ドバイ
	カラチ
	カブール
	マーレ
	デリー
	コロンボ
	カトマンズ
	ダッカ
東アジア	ヤンゴン
	バンコク
	クアラルンプール
	ビエンチャン
	シンガポール
	プノンペン
	ホーチミン
	ジャカルタ
	香港
	北京
	上海
	マニラ
	台北
	ソウル
	東京
	グアム
オセアニア	パース
	アデレード
	シドニー
	ヌーメア
	ウェリントン
	オークランド
	パゴパゴ

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。
各メニュー項目の中で初期設定値があるものについて表示内容の意味を示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」は「モードメモリ」(p.97) の設定による。

リセット設定

する　：リセット（p.166）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
記録サイズ		6M（2816×2112）	する	する	p.85
画質		★★（ファイン）	する	する	p.87
ホワイトバランス		AWB（オート）	※	する	p.88
AF	AFエリア	[　]（マルチ）	する	する	p.90
	フォーカスリミット	オン	する	する	p.90
感度		オート	※	する	p.92
露出補正		±0.0	※	する	p.78
動画	記録サイズ	320（320×240）	する	する	p.101
	カラーモード	フルカラー	する	する	p.103
	フレームレート	30fps	する	する	p.102
デジタルズーム		オン	※	する	p.77
クイックビュー		1秒	する	する	p.93
モードメモリ	ストロボモード	オン	―	する	p.83
	ドライブモード	オフ	―	する	p.72、p.73、p.74
	フォーカスモード	オフ	―	する	p.81
	ズーム位置	オフ	―	する	p.76
	MF位置	オフ	―	する	p.82

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
モードメモリ	ホワイトバランス	オフ	―	する	p.88
	感度	オフ	―	する	p.92
	露出補正	オフ	―	する	p.78
	デジタルズーム	オン	―	する	p.77
	DISPLAY	オフ	―	する	p.79、p.109
	ファイルNo.	オン	―	する	―
シャープネス		標準	する	する	p.94
彩度		標準	する	する	p.95
コントラスト		標準	する	する	p.96

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
サウンド	音量	3	する	する	p.152
	起動音	1	する	する	
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	オン	する	する	
日時設定	表示スタイル(年月日)	初期設定による	する	しない	p.38
	表示スタイル(時間)	初期設定による	する	しない	
	日付	初期設定による	する	しない	
	時刻	初期設定による	する	しない	
アラーム	アラーム設定	オフ	する	する	p.154
	時刻	0:00	する	する	
ワールドタイム	ワールドタイム設定	オフ	する	する	p.156
	目的地(都市)	現在地と同じ	する	しない	
	目的地(夏時間)	現在地と同じ	する	しない	
	現在地(都市)	初期設定による	する	しない	
	現在地(夏時間)	初期設定による	する	しない	
Language/言語		初期設定による	する	しない	p.36
フォルダ名		標準	する	する	p.159
USB接続		PC	する	する	p.160
ビデオ出力		初期設定による	する	しない	p.161
LCDの明るさ		標準	する	する	p.162
エコモード		5秒	する	する	p.163

名称	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
クイック拡大	オフ	する	する	p.108
オートパワーオフ	3分	する	する	p.164
グリーンボタン	グリーンモード	する	する	p.58

● 再生モードパレット項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.110
	画面効果	ワイプ	する	する	
	効果音	オン	する	する	
デジタルフィルタ		白黒	しない	—	p.127
明るさフィルタ		標準	しない	—	p.128
起動画面設定		Optioロゴ画面	する	する	p.165

● キーによる操作

名称		機能	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
▶ボタン		動作モード	▶モード	—	—	—
ズーム/♠♠♠/♠ボタン		ズーム位置	広角端	※	する	p.76
十字キー	▲	ドライブモード	□（標準）	※	する	p.72、p.73、p.74
	▼	撮影モード	P（プログラム）	する	する	p.53
	◀	ストロボモード	⚡A（オート）	※	する	p.83
	▶	フォーカスモード	AF（オートフォーカス）	※	する	p.81
MENUボタン		メニュー表示	「📷撮影」メニュー	—	—	p.48
OK/DISPLAYボタン		情報表示	標準	※	する	p.79、p.109

撮影モードごとの使える機能／使えない機能

○：設定でき、動作にも反映されます。
×：設定できません。
△：設定はできますが、動作には反映されません。

		P						
（オート）	○	○	○	×	×	○	○	○
（発光禁止）	○	○	○	○	×	○	○	○
（強制発光）	×	○	○	×	×	○	○	○
（オート＋赤目）	×	○	○	×	×	○	○	○
（強制＋赤目）	×	○	○	×	×	○	○	○
SOFT（ソフト）	×	○	○	×	×	○	○	○
（セルフタイマー）	○	○	○	○	×	○	○	○
（2秒セルフタイマー）	×※1	○	○	○	×	○	○	○
（連続撮影）	×	○	×	×	×	×	○	○
（高速連写）	×	○	×	×	×	×	○	○
（フレーム合成）	○	○	○	×	×	×	○	○
AF（オートフォーカス）	○	○	○	×	×	○	○	○
（マクロ）	○	○	○	×	×	○	○	○
（無限遠）	×	○	○	○	×	○	○	○
PF（パンフォーカス）	×	○	○	○	×	○	○	○
MF（マニュアルフォーカス）	×	○	○	○	×	○	○	○
記録サイズ	×	○	○	△※2	△	○	○	○
画質	×	○	○	△	△	○	○	○
ホワイトバランス	×	○	×	○	△※5	○	×	×
AFエリア	×	○	○	△	△	○※6	○	×
フォーカスリミット	×	○	○	△	△	○	○	○
感度	×	○	○	○	△	○	○	○
露出補正	×	○	○	○※3	△	○	○	○
動画	×	△	△	○	△	△	△	△
デジタルズーム	×	○	○	○※4	△	○	○	○
クイックビュー	×	○	○	○	△	△	○	○
モードメモリ	×	○	○	○	△	○	○	○
シャープネス	×	○	×	○	△	○	×	×
彩度	×	○	×	○	△	○	×	×
コントラスト	×	○	×	○	△	○	×	×

※1 他の撮影モードでを選択した後でに切り替えると、設定可能
※2「動画」設定値に準ず
※3 撮影中は不可
※4 撮影中はデジタルズームのみ
※5 （マニュアル）は設定も不可
※6 （自動追尾）は不可

	SOFT							
○	○	○	×	○	○	○	○	（オート）
○	○	○	×	○	○	○	○	（発光禁止）
○	○	○	×	○	○	○	○	（強制発光）
○	○	○	×	○	○	○	○	（オート＋赤目）
○	○	○	×	○	○	○	○	（強制＋赤目）
○	○	○	×	○	○	○	○	（ソフト）
○	○	○	○	○	○	○	○	（セルフタイマー）
○	○	○	○	○	○	○	○	（2秒セルフタイマー）
×	×	×	×	○	×	○	×	（連続撮影）
×	×	×	×	○	×	○	×	（高速連写）
×	○	×	○	○	○	○	×	（フレーム合成）
○	○	○	×※8	○	○	○	○	AF（オートフォーカス）
○	○	○	×※8	○	○	○	○	（マクロ）
○	○	○	○※8	○	○	○	○	（無限遠）
○	○	○	×※8	○	○	○	○	PF（パンフォーカス）
○	○	○	×※8	○	○	○	○	MF（マニュアルフォーカス）
×※7	○	○	○	○	○	○	×※7	記録サイズ
○	○	○	○	○	○	○	○	画質
×	×	○	×	×	×	×	○	ホワイトバランス
○	○	○	△	○	○	○	○	AFエリア
○	○	○	△	○	○	○	○	フォーカスリミット
○	○	○	×	○	○	○	○	感度
○	○	○	×	○	○	○	○	露出補正
△	△	△	△	△	△	△	△	動画
○	○	○	○	○	○	○	○	デジタルズーム
○	○	○	○	○	○	○	○	クイックビュー
○	○	○	○	○	○	○	○	モードメモリ
×	×	○	×	×	×	×	○	シャープネス
×	×	○	×	×	×	×	○	彩度
×	×	○	×	×	×	×	○	コントラスト

※7 1260×960固定
※8 （無限遠）に固定

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプターキット K-AC8J

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8（※）

バッテリー充電器キット K-BC8J（※）
（バッテリー充電器 D-BC8、ACコード D-CO24Jのセット）

USBケーブル I-USB7（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

ストラップ

O-ST20（※）

O-ST24　本革を使ったリッチなレザーストラップです。

O-ST8　シルバーに輝くチェーンストラップです。

O-ST30　防水加工を施しており、水中でもお使いになれます。

カメラケース

O-CC24　ストラップ付きレザーケースです。

O-CC30　撥水加工の専用ケースです。

プロテクタージャケット

O-CC302　カメラ本体を傷や汚れから守るプロテクタージャケットです。

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

電池容量がなくなりました	バッテリーの残量がありません。バッテリーを充電器で充電してください。（p.22）
カードの空き容量がありません	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.28、p.114） 撮影済み画像の画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.122）
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.149）
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.30）
圧縮に失敗しました	撮影時にSDメモリーカードの容量の上限を超えたときに表示されます。
画像/音声がありません	SDメモリーカードに再生できる画像や音声が保存されていません。
動画記録を中止します	動画撮影時にカメラ内部の温度上昇が限界を超えた場合に表示されます。
消去中です	画像や音声を消去中に表示されます。
再生できません	このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
フォルダが作成できません	最大のフォルダ番号（999）で最大のファイル番号（9999）が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。（p.149）
プロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。

記録中です	画像がまだ記録中なのに、▶モードに切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録が終了したら表示が消えます。
処理中です	画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示できないとき、またはSDメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます
アラームを設定しました	アラームを設定して自動で電源がオフになるときに表示されます。

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターからエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが入っていない	バッテリーが入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	バッテリーの入れかたを間違えている	バッテリーの挿入方向を確認してください。⊕⊖表示にしたがってバッテリーを入れなおしてください。（p.23）
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
液晶モニターに何も表示されない	パソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	液晶モニターがオフにセットされている	**OK** ボタンを押すと、液晶モニターがオンになります。（p.79）
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります。液晶モニターを明るく設定してください。（p.162）
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボ充電中は撮影できません。充電が完了すると撮影できます。
	SD メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSD メモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.28、114）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	被写体までの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。（p.41）あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。（p.82）
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニター中央のAFエリアに、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷にセットしてください。（p.81）
	フォーカスモードが🌷になっている	フォーカスモードが🌷にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が⊘（発光禁止）になっている	オートまたは⚡（強制発光）に設定してください。（p.83）
	ドライブモードが▣、▣ フォーカスモードが▲ 撮影モードが🎥、◎	これらのモードではストロボは発光しません。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	PictBridgeモードになっている	カメラのUSB接続モード「PC」に切り替えてください。（p.160）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	転送モードが「PC」になっている	転送モードを「PictBridge」に切り替えてください。（p.139）

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ
有効画素数	600万画素
撮像素子	総画素数636万画素、 原色フィルター／インターラインフトランスファー 1/2.5型CCD
記録画素数	静止画 6M（2816×2112）、5M（2560×1920） 4M（2304×1728）、3M（2048×1536） 2M（1600×1200）、1024（1024×768） 640（640×480）（ピクセル） 動画 320（320×240）、160（160×120）ピクセル
感度	オート、マニュアル（80／160／320／400：標準出力感度） ※撮影モードで「キャンドルライト」「CALS」選択時のみ、800を設定可
記録方式	静止画 JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PictBridge対応、PRINT Image Matching III対応 動画 MOV（QuickTime Motion JPEG準拠）、ストリーミング記録、約30fps／約15fps（フレーム／秒）、PCM方式、モノラル音声付、フルカラー・セピア・白黒切替可 音声 ボイスメモ、ボイスレコード：WAVE（PCM）方式、モノラル、ピクチャーボイス
画質	静止画 ★★★（S.ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー）
記録媒体	内蔵メモリー（約10.5MB）、SDメモリーカード

撮影枚数と時間

静止画

	★★★（S.ファイン）		★★（ファイン）		★（エコノミー）	
	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB
6M 2816×2112	約3枚	約41枚	約7枚	約83枚	約10枚	約124枚
5M 2560×1920	約4枚	約49枚	約8枚	約95枚	約11枚	約137枚
4M 2304×1728	約5枚	約62枚	約10枚	約124枚	約15枚	約178枚
3M 2048×1536	約6枚	約77枚	約13枚	約153枚	約19枚	約223枚
2M 1600×1200	約10枚	約124枚	約17枚	約206枚	約26枚	約301枚
1024 1024× 768	約21枚	約244枚	約35枚	約412枚	約45枚	約522枚
640 640× 480	約42枚	約489枚	約61枚	約712枚	約84枚	約979枚

動画

	30fps		15fps		音声	
	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB
320 320×240	約16秒	約3分6秒	約30秒	約5分56秒	約8分22秒	約1時間37分
160 160×120	約1分1秒	約11分52秒	約1分52秒	約21分45秒		

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	6.3mm～18.9mm （35mmフィルム換算：38mm～114mm相当）
	F値	F3.3～F4
	レンズ構成	9群11枚（非球面レンズ3枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	約16.5mm×約12.3mmを画面いっぱいに撮影可能（マクロモード時）
デジタルズーム	撮影時	最大約4倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約12倍ズーム相当のズーム倍率）
液晶モニター	2.0型TFTカラーLCD（バックライト付）微反射タイプ、明るさ調整付、約11.5万画素	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大8倍まで、スクロール可）、フォルダ表示、回転表示、音声再生、スライドショウ、動画再生・編集（静止画保存、分割、結合）、ヒストグラム表示、白とび・黒つぶれ表示、画像/音声コピー、デジタルフィルタ、明るさフィルタ、トリミング、リサイズ、フレーム合成、赤目補正、削除画像復活	
フォーカスモード	オートフォーカス、マクロ、無限遠、パンフォーカス、マニュアルフォーカス	

フォーカス	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 9点AF（マルチ／スポット／自動追尾切替可）
	静止画（レンズ前面から）	ノーマル ：約0.4m～∞（ズーム全域、ただし望遠時のみ約0.5m～∞） マクロ ：約0.01m～約0.6m（広角時） パンフォーカス： 約1.5m～∞（広角時）、 約5.0m～∞（望遠時） 遠景 ：∞（ズーム全域） マニュアルフォーカス： 約0.01m～∞（広角時）、 約0.5m～∞（望遠時） ※ 自動追尾AF時のみ、コンティニュアスAF可
	動画（レンズ前面から）	パンフォーカス： 約1.5m～∞（広角時）、 約5.0m～∞（望遠時） 遠景 ：∞（ズーム全域） マニュアルフォーカス： 約0.01m～∞（広角時）、 約0.5m～∞（望遠時）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
撮影モード	グリーン、プログラム、夜景、動画、ボイスレコーディング、ピクチャーボイス、風景、花、ポートレート、マーメード、サーフ&スノー、スポーツ、キッズ、ペット、キャンドルライト、ソフト、パノラマアシスト、花火、セルフポートレート、美肌、料理、美術館、CALS	
デジタルフィルタ	白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄、ソフト、明るさ	
動画	連続録画時間	約1秒～内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱいまで
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート（低照度時）、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減、ソフト発光（夜景モード時のみ低速シンクロ可能）
	撮影範囲	広角時 約0.2m～約3.1m （標準出力感度オートの条件において） 望遠時 約0.5m～約2.5m （標準出力感度オートの条件において）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影（約10秒後、約2秒後）、連続撮影（標準、高速）、フレーム合成	

セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム	世界70都市に対応（28タイムゾーン）
	スタイルウォッチ	電源オフ時に**OK**ボタン長押しで時刻表示（約10秒間）
	アラーム	指定時間にアラームと同時にスタイルウォッチを表示
電源	専用リチウムイオンバッテリーD-LI8、ACアダプターキット（別売）	
バッテリー寿命	撮影可能枚数 200枚	※撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：液晶モニターON、ストロボ使用率50％、23℃）
	再生時間 240分	※時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
	動画撮影時間 80分	
	音声録音時間 300分	
最大充電時間	約100分	
入出力ポート	PC／AV端子、DC入力端子	
ビデオ出力方式	NTSC／PAL（モノラル音）	
PictBridge	対応プリンター	PictBridge対応のプリンター
	印刷モード	1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷
	用紙サイズ指定	カード、L、2L、ハガキ、100mm×150mm、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3、プリンター設定
	用紙タイプ指定	★★★、★★、★、プリンター設定
	印刷品質設定	★★★、★★、★、プリンター設定
	ふち指定	あり、なし、プリンター設定
防水・防塵機能	JIS防水保護等級8級、JIS防塵保護等級5級(IP58)準拠　水深1.5m、連続30分間の水中撮影が可能	
大きさ	102（幅）×51（高）×22（厚）mm（操作部、突起部を除く）	
質量	120g（バッテリー、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	135g（バッテリー、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	専用バッテリー、バッテリー充電器、ACコード、USBケーブル、AVケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、使用説明書、保証書	

索引

記号

数字

A

D

M

N

O

P

S

9
付録

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付

0120-737-919（フリーダイヤル）
03-3975-4314（携帯・PHS用）
受付時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

インターネット受付

URL：https://www.pentax.co.jp/japan/support/

FAX受付

FAX：03-3975-4318
インターネット受付のURLアドレスからFAX申込書をダウンロードしてお使いください。

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター　03-3975-4341（代）
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス（株）流通センター内
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター　06-6271-7996（代）
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

メモ

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター



ナビダイヤル　0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS の方は、右記の電話番号をご利用ください。 **☎03-3960-3200（代）**

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0401　東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）

営業時間　午前 10：30 ～午後 6：30
（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属しています CD-ROM と弊社ホームページから登録が可能です。
同梱の「PC 接続ガイド」（裏面右下）をご参照ください。



ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57556
01-200508
Printed in Japan